

一般財団法人 横手市スポーツ協会
第3期将来構想

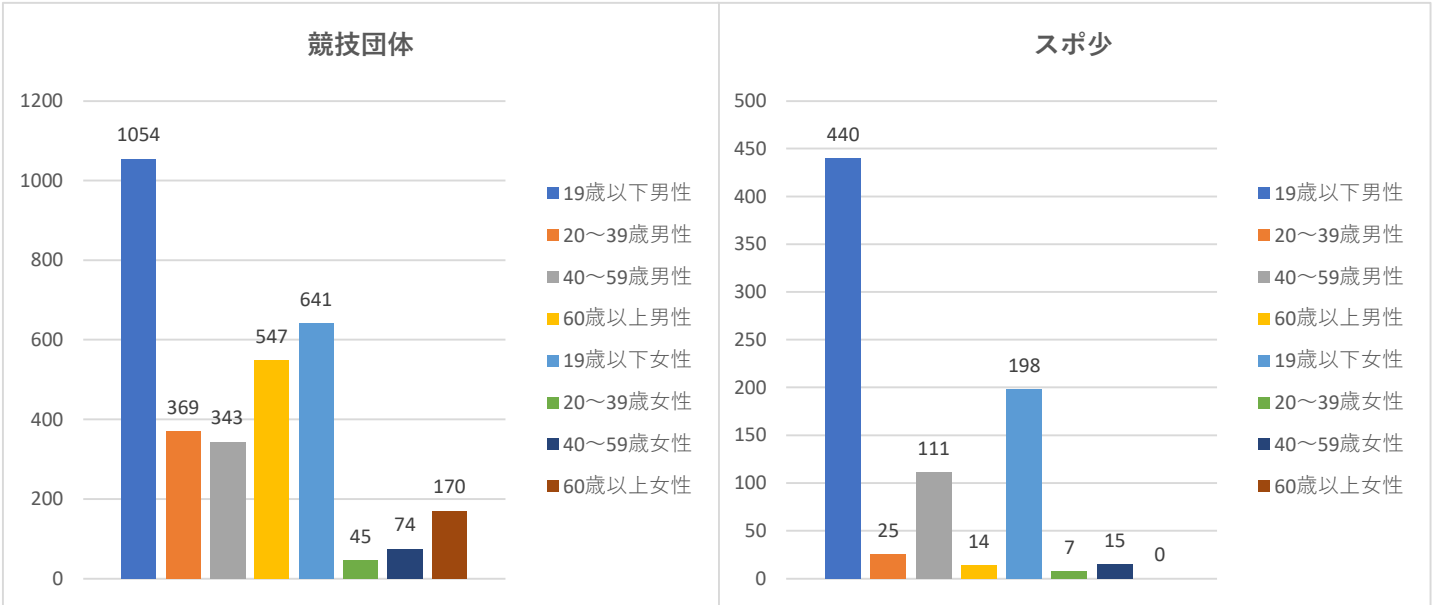
資料編

【令和7年度実施 加盟団体アンケート調査】

1-1 登録者数

区分	19歳以下 男性	20～39歳 男性	40～59歳 男性	60歳以上 男性	19歳以下 女性	20～39歳 女性	40～59歳 女性	60歳以上 女性	合計
競技団体	1,054	369	343	547	641	45	74	170	3,243
スポ少	440	25	111	14	198	7	15	0	810
全体	1,494	394	454	561	839	52	89	170	4,053

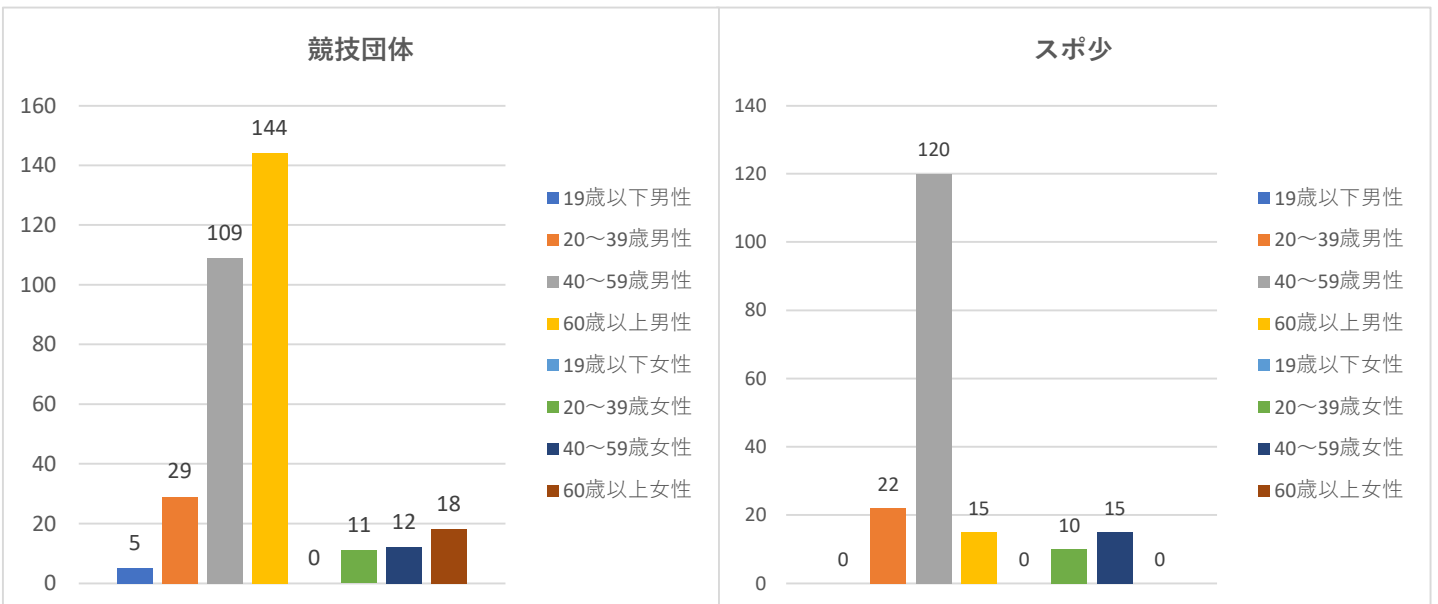
■全体の会員・登録者（スポ少は、指導者も含む）



1-2 有資格者数

区分	19歳以下 男性	20～39歳 男性	40～59歳 男性	60歳以上 男性	19歳以下 女性	20～39歳 女性	40～59歳 女性	60歳以上 女性	合計
競技団体	5	29	109	144	0	11	12	18	328
スポ少	0	22	120	15	0	10	15	0	182
全体	5	51	229	159	0	21	27	18	510

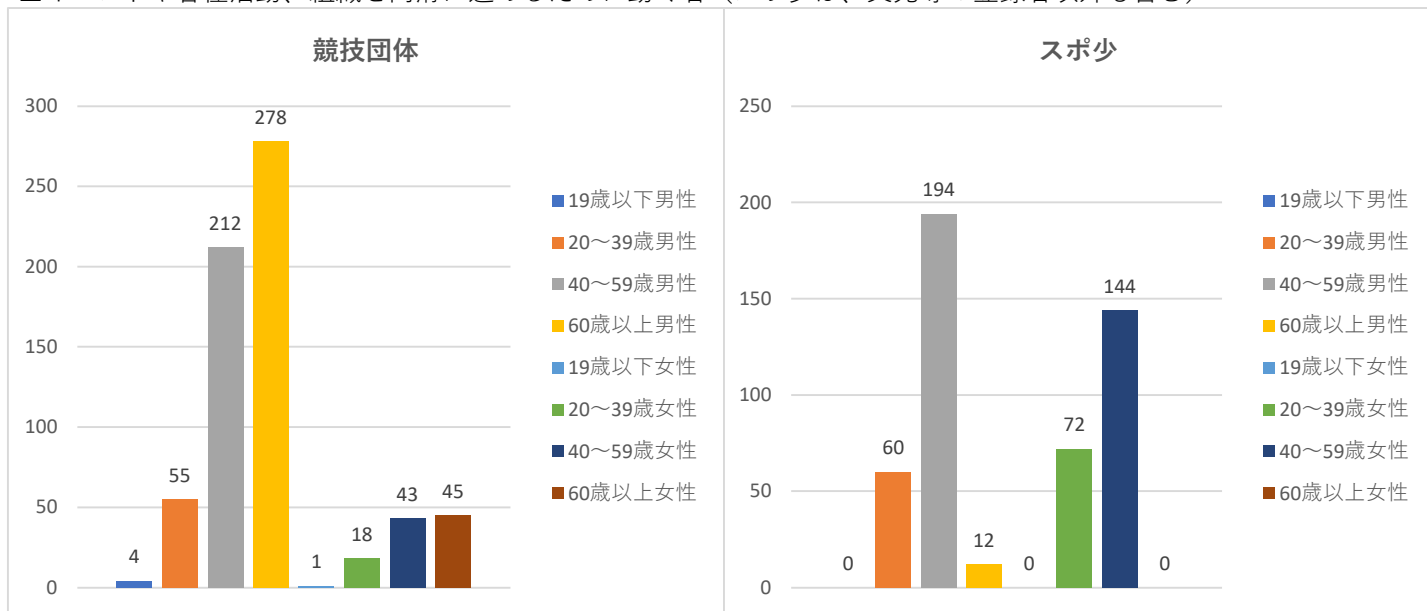
■スポーツに関する指導や運営、競技に関する知識や技術を証明する資格を持つ者



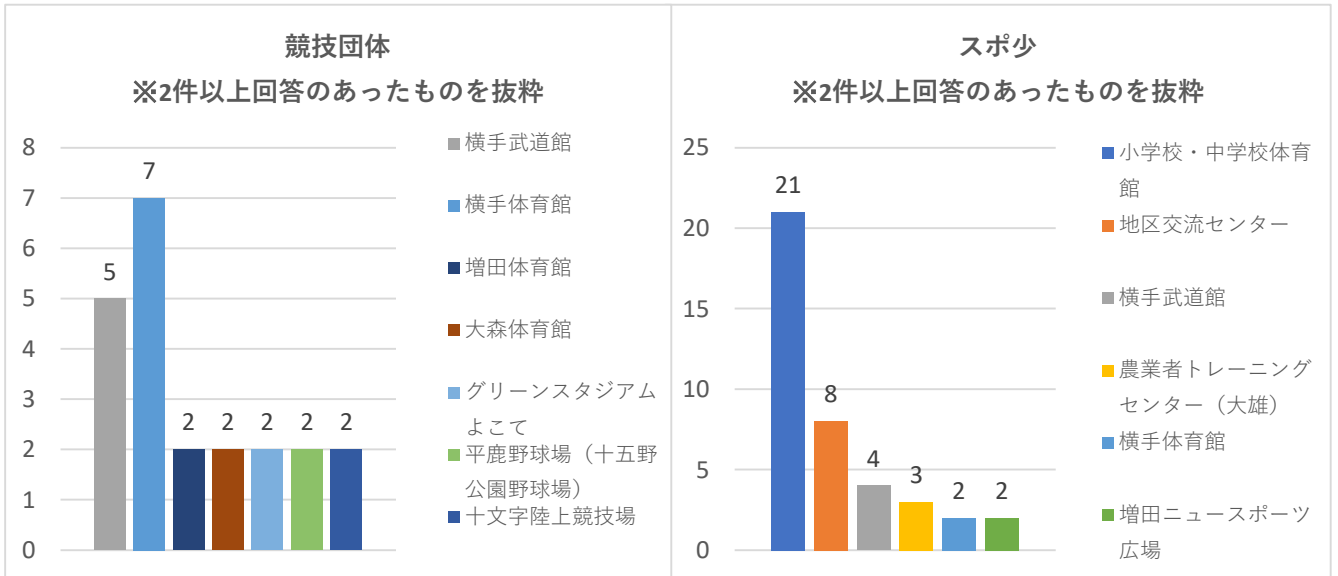
1-3 運営スタッフ人数

区分	19歳以下 男性	20～39歳 男性	40～59歳 男性	60歳以上 男性	19歳以下 女性	20～39歳 女性	40～59歳 女性	60歳以上 女性	合計
競技団体	4	55	212	278	1	18	43	45	656
スポ少	0	60	194	12	0	72	144	0	482
全体	4	115	406	290	1	90	187	45	1,138

■ イベントや各種活動、組織を円滑に進めるために動く者（スポ少は、父兄等の登録者以外も含む）



2-1 主な活動場所



【上記以外に回答（1件）のあった活動場所】

▼競技団体

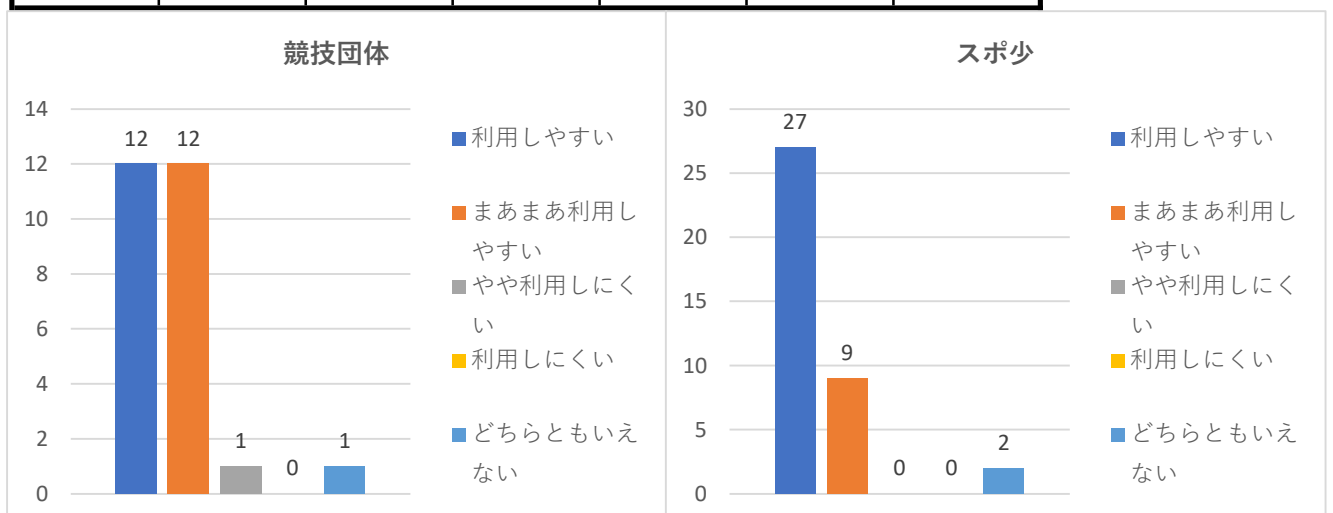
小・中学校体育館、地区交流センター、農業者トレーニングセンター（大雄、平鹿）、大森テニスコート、十文字野球場、十文字テニスコート、赤坂総合公園グラウンド・ゴルフ場、天下森スキー場、平鹿相撲場、雄物川体育館、沼館野球場、大森野球場、山内テニスコート、スタジアム大雄、羽後カントリークラブ

▼スポーツ少年団

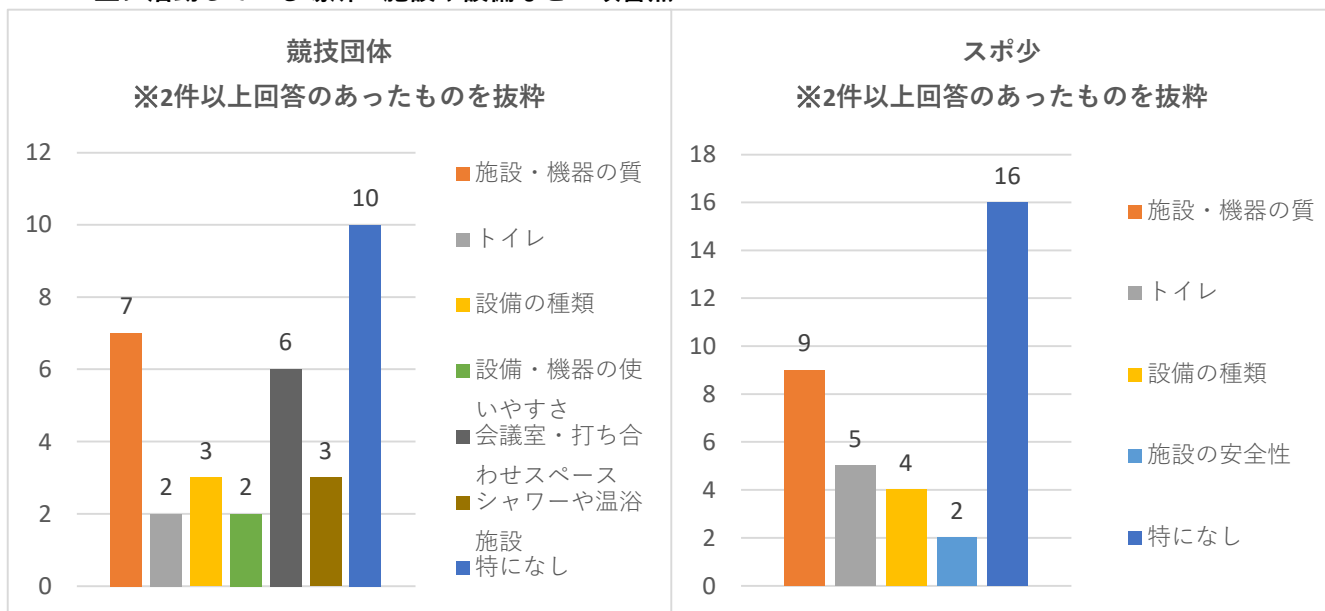
増田体育館、大森体育館、大森テニスコート、十文字野球場、十文字テニスコート、記念公園運動広場、平鹿体育館、B&G海洋センター体育館（十文字）、古内河川運動公園、山内体育館、小学校グラウンド、雄物川コミュニティセンター

2-2 活動施設が利用しやすいと感じるか

区分	利用しやすい	まあまあ利用しやすい	やや利用しにくい	利用しにくい	どちらともいえない	合計
競技団体	12	12	1	0	1	26
スポ少	27	9	0	0	2	38
全体	39	21	1	0	3	64



3-1 主に活動している場所の施設や設備などの改善点



【上記以外に回答（1件）のあった改善点】

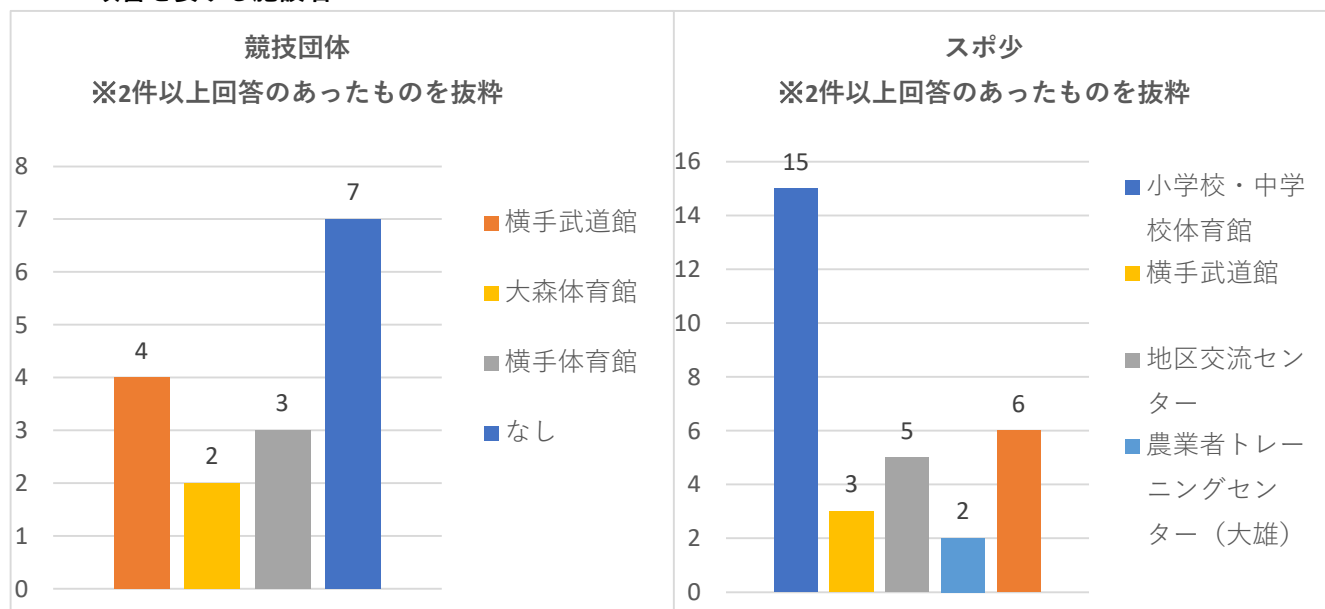
▼競技団体

施設の安全性、更衣室・ロッカー、飲食施設・設備（自動販売機など）、冷暖房設備の設置 等

▼スポーツ少年団

設備・機器の使いやすさ、施設内の段差の解消・バリアフリー対策、談話室・サロンスペース、照明、冷暖房設備の設置 等

3-2 改善を要する施設名



【上記以外に回答（1件）のあった施設名】

▼競技団体

小学校・中学校体育館、十文字野球場、平鹿相撲場、農業者トレーニングセンター（平鹿）、沼館野球場、大森テニスコート、小学校グラウンド、小学校グラウンド、秋田県立プール、羽後カントリー倶楽部

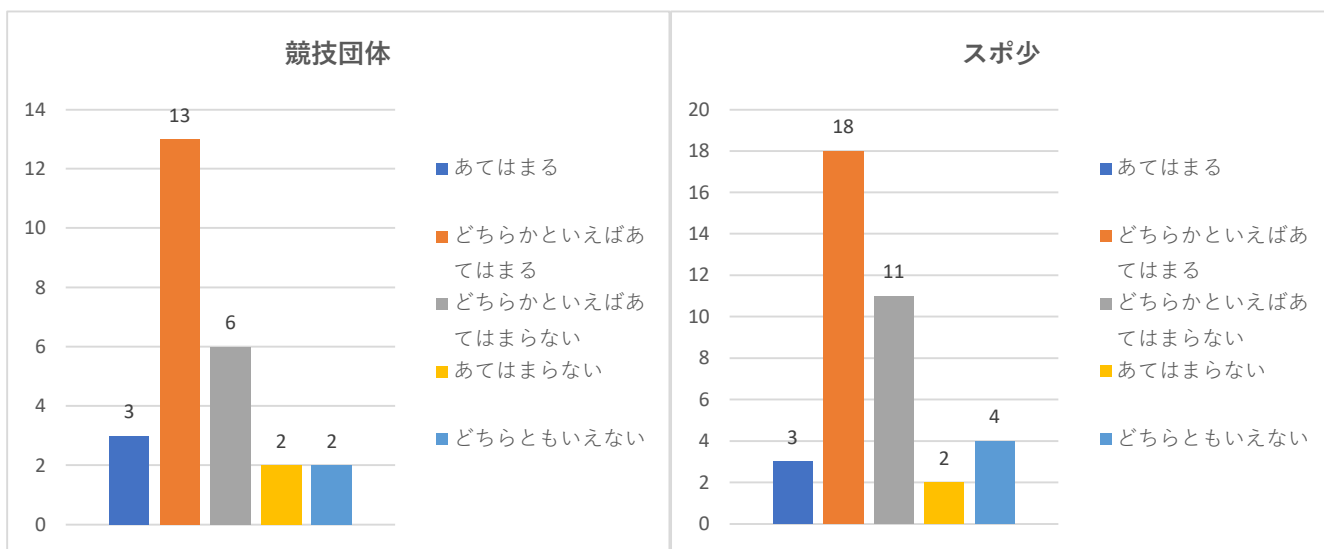
▼スポーツ少年団

大森体育館、十文字テニスコート、記念公園運動広場、平鹿体育館、古内河川運動公園、山内体育館、小学校グラウンド

4-1 日常的に利用できる施設が多い

区分	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	どちらとも いえない	合計
競技団体	3	13	6	2	2	26
スポ少	3	18	11	2	4	38
全体	6	31	17	4	6	64

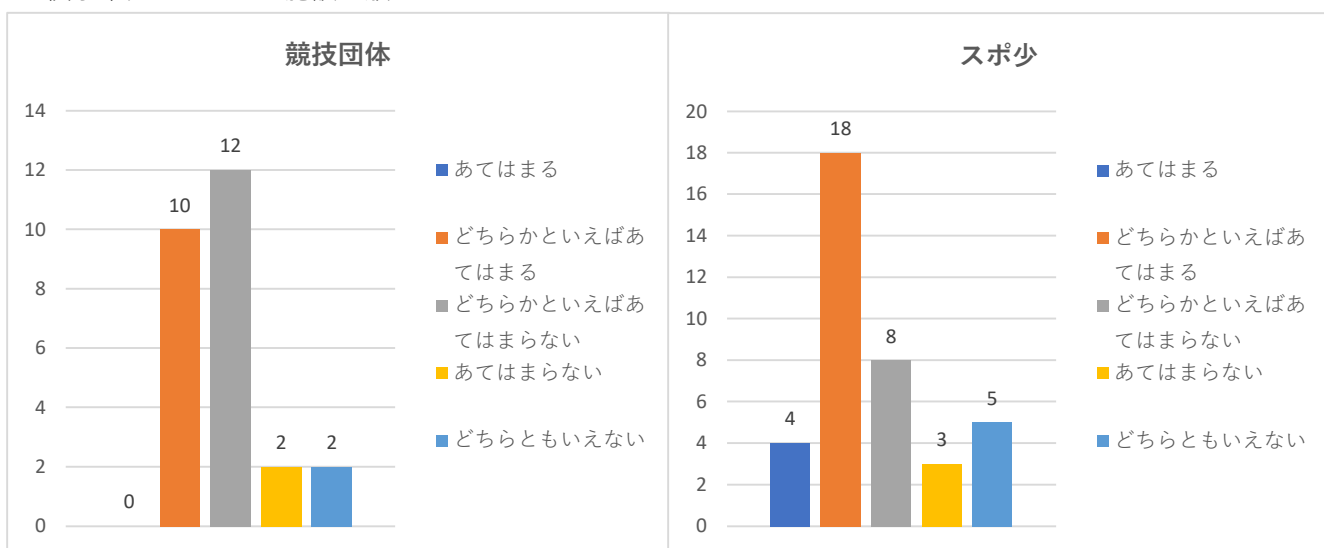
■横手市内のスポーツ施設全般について



4-2 施設設備が充実している

区分	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	どちらとも いえない	合計
競技団体	0	10	12	2	2	26
スポ少	4	18	8	3	5	38
全体	4	28	20	5	7	64

■横手市内のスポーツ施設全般について



▼横手市内のスポーツ施設など、スポーツをするための環境等に関する意見・提案

スポーツ環境の充実は人口流出対策につながるものと思う。

広く市民が利用できる環境促進の充実。

誰もが気軽に利用できる施設（体育館）が欲しい。

各地域ごとにバスケットボールやサッカーなどができる公園があれば学校終わりに利用できる。

トレーニングルームや室内でジョギングができる環境が他の郡市に比べて足りていない。

廃校や空いてる土地を有効活用してほしい。

使用団体が固定化され、なかなか使用できない。

冬期間において、屋外競技ができる施設が限られており、活動に苦慮している。（野球等）

冷房等の空調設備が整備されることを望む。

小学校体育館を含むスポーツ施設の修繕をお願いしたい。（雨漏り等）

旧郡部の施設の維持管理について、今後の方向性を示してほしい

改修等の計画があれば、競技団体等と一緒に計画してほしい。

抽選での利用調整をお願いしたい。（例：秋田市）

市外の施設の使用を考慮しなければならないこともあり、横手市内で活動できることが理想。

市立体育館を含め、利用施設の使用状況が均等になることを望む。

現在の横手体育館を解体せず市民に解放してほしい。

旧体育館跡地に室内弓道場をつくっていただきたい。

大会・イベントでは主催者がネット即時配信を行ためのWi-Fi環境は必須。

ミニバスケットボールのリングの高さ、ボールの大きさの変更対応について、市に協力していただきたい。

▼横手市立体育館の取り組みに関する意見・提案（自由記載）

運動公園として、多くの人がボール遊びやジョギング等を自由に楽しめる場所にしてほしい。

貸す側目線ではなく、利用する側目線での運営に配慮いただきたい。

新アリーナには各種大会の開催が期待できるが、普段の利用にはハードルが高い印象がある。

スポーツ少年団、サークルなど市民利用ができるよう配慮してほしい。

ナイスアリーナのような空調の充実。

スポーツのみならず、様々なイベントの開催を期待したい。

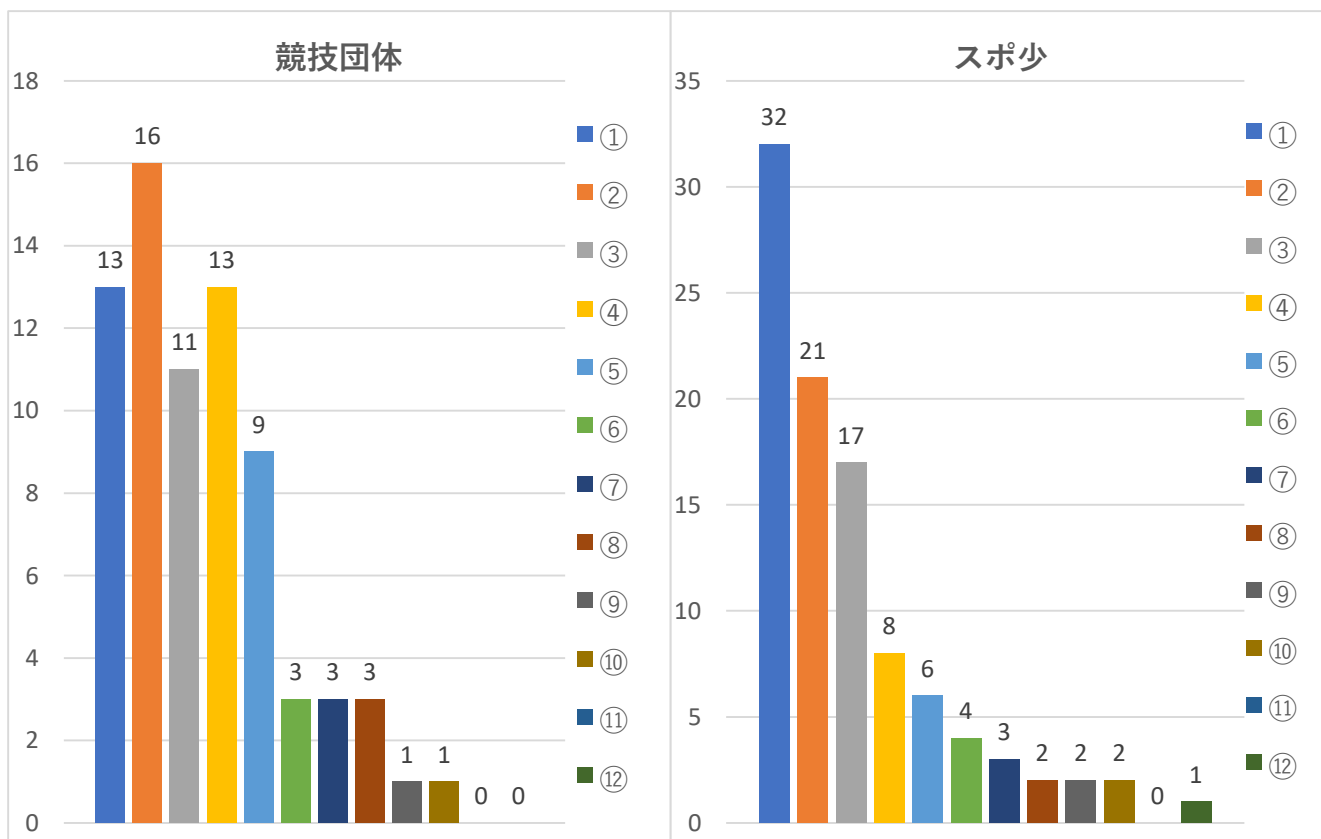
防災拠点としてはもちろん、量があることで、全国大会等の誘致も可能になる。

5-1 市民の豊かなスポーツライフ実現に向けた団体の役割

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
区分	子供の体力向上、健全育成への貢献	スポーツを通じた教育や人間形成、地域活性化への貢献	地域密着したスポーツ・運動クラブやサークルの育成・充実	競技スポーツの底辺拡大	年齢層に応じた生涯スポーツの普及推進と定着	スポーツの指導者の養成やスキル向上のための支援・育成	スポーツフェスティバル等、市民に向けた参加推進活動	団体員、会員の交流
競技団体	13	16	11	13	9	3	3	3
スポ少	32	21	17	8	6	4	3	2
全体	45	37	28	21	15	7	6	5

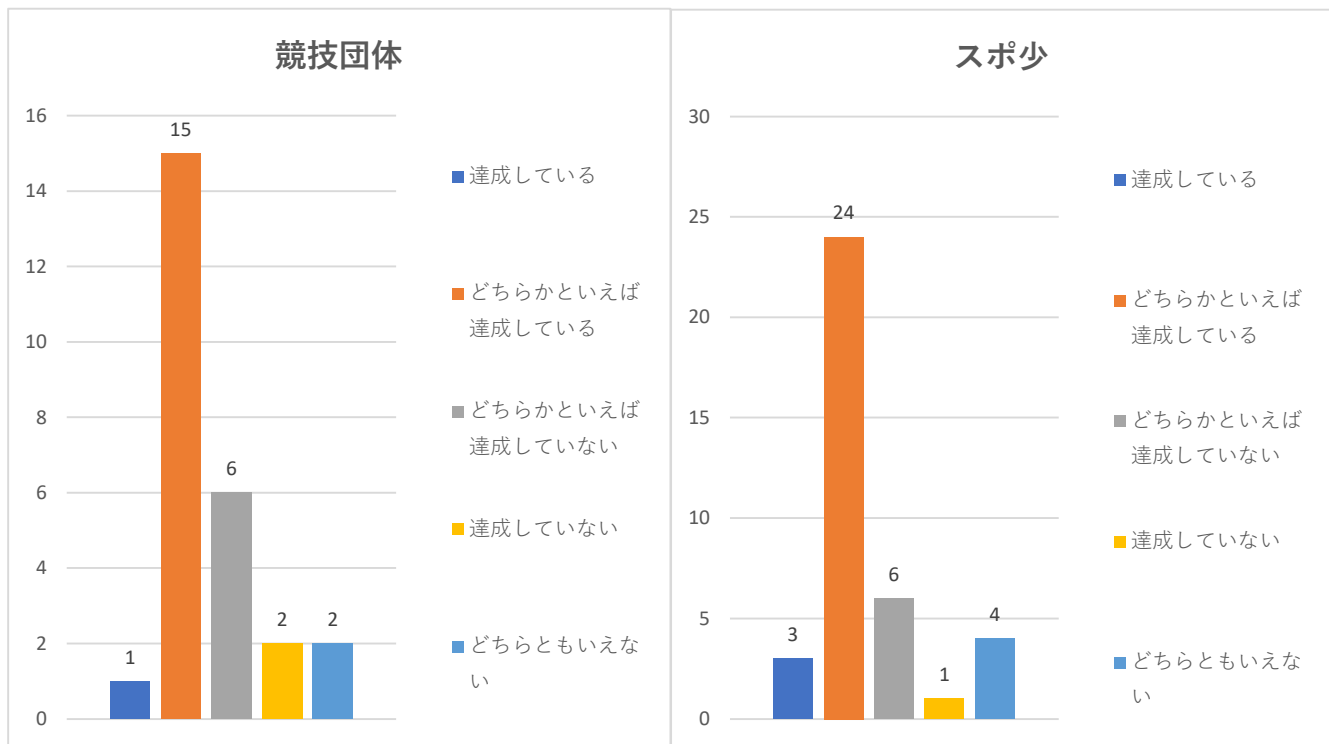
	⑨	⑩	⑪	⑫	合計
区分	トップレベルの競技スポーツ選手の育成	スポーツに関する競技力向上への取り組みと活動への活用	障がい者スポーツの普及・啓発	その他	
競技団体	1	1	0	0	71
スポ少	2	2	0	1	93
全体	3	3	0	1	164

△重要なもの上位3つ（複数回答可）



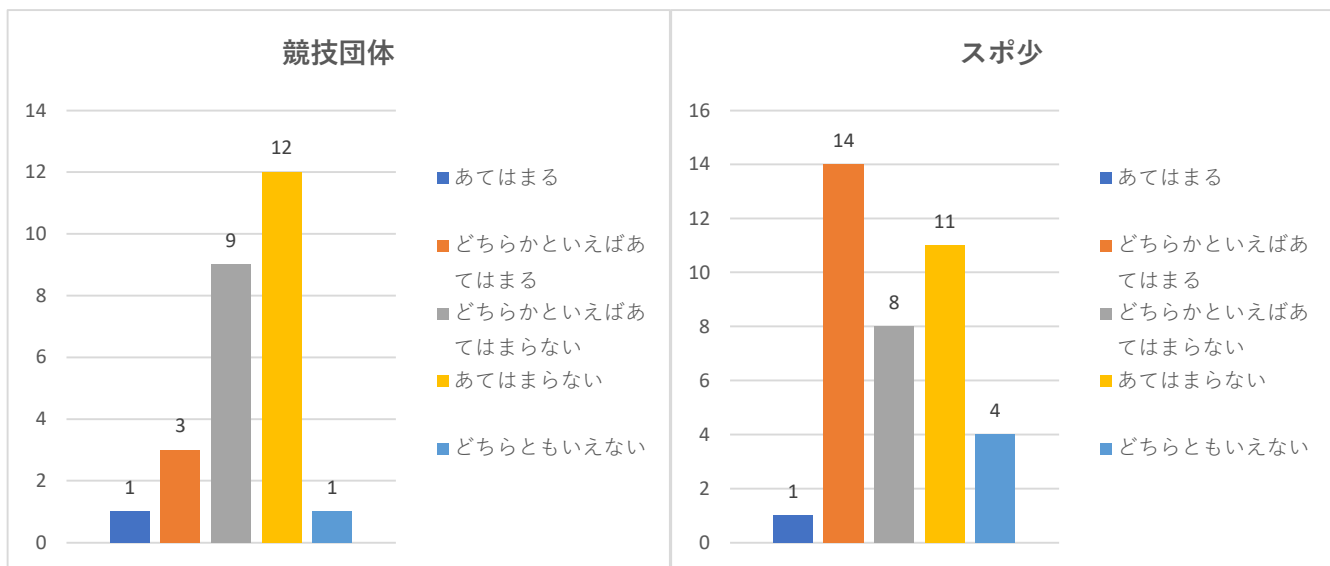
5-2 市民の豊かなスポーツライフ実現に向けた団体の役割の達成度

区分	達成している	どちらかといえ ば達成している	どちらかといえ ば達成していない	達成してい ない	どちらとも いえない	合計
競技団体	1	15	6	2	2	26
スポ少	3	24	6	1	4	38
全体	4	39	12	3	6	64



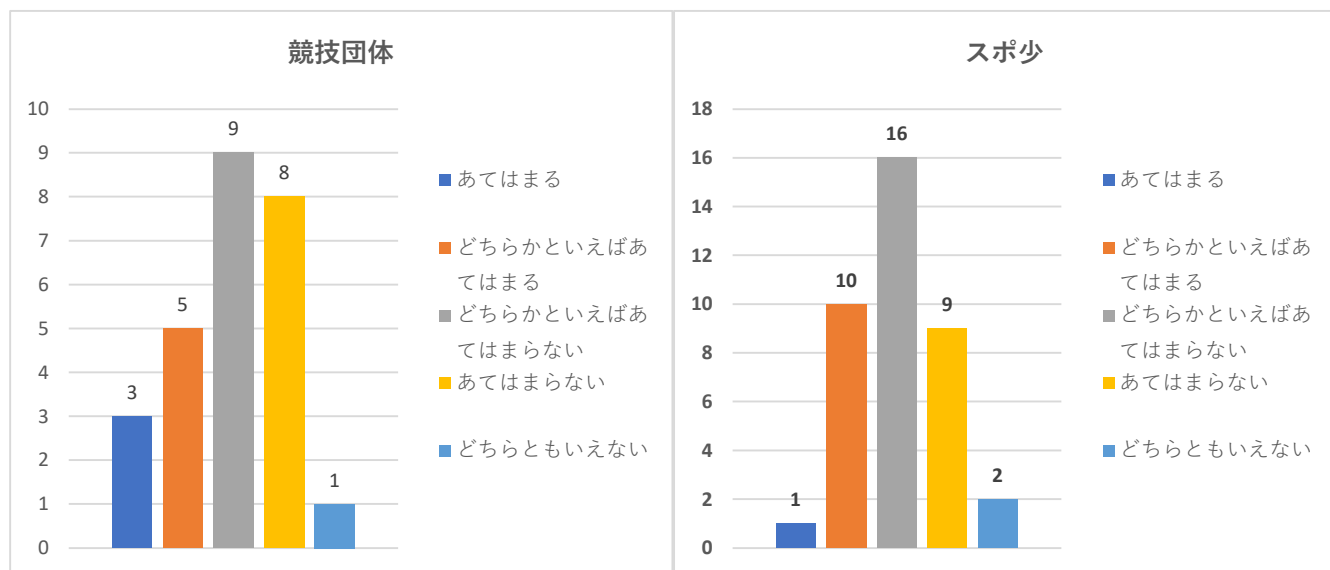
6-1-① 登録者数・会員数が増えている

区分	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	どちらとも いえない	合計
競技団体	1	3	9	12	1	26
スポ少	1	14	8	11	4	38
全体	2	17	17	23	5	64



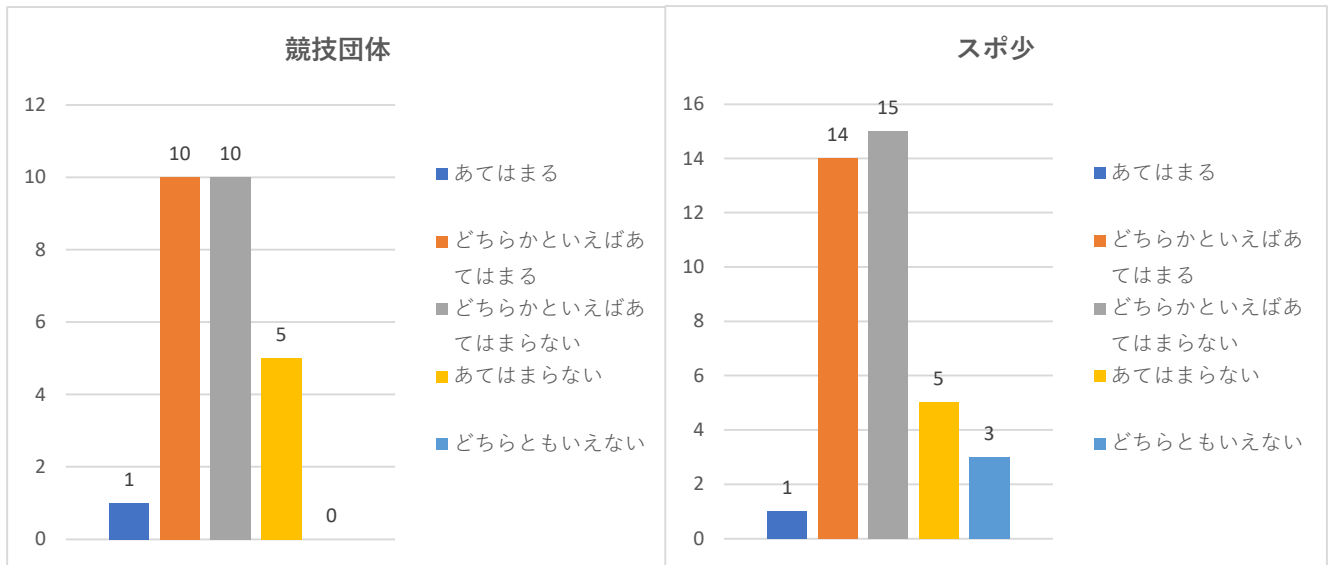
6-1-② 団体の運営費が十分にある

区分	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	どちらとも いえない	合計
競技団体	3	5	9	8	1	26
スポ少	1	10	16	9	2	38
全体	4	15	25	17	3	64



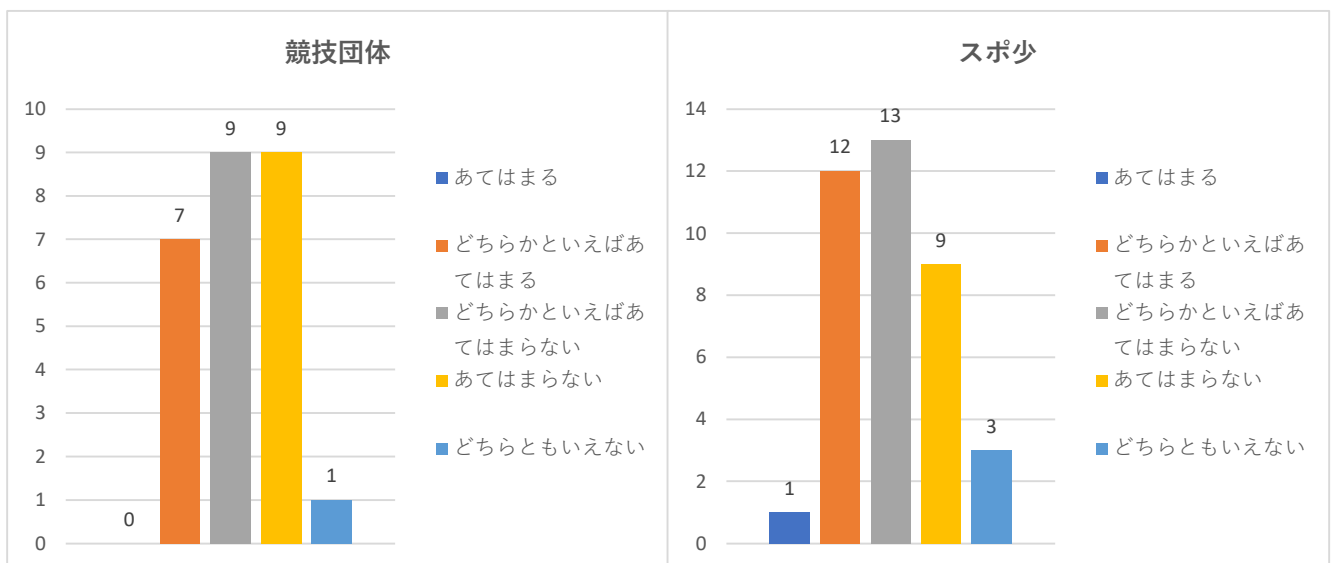
6-1-③ 団体運営を行う人材が十分いる

区分	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	どちらとも いえ ない	合計
競技団体	1	10	10	5	0	26
スポ少	1	14	15	5	3	38
全体	2	24	25	10	3	64



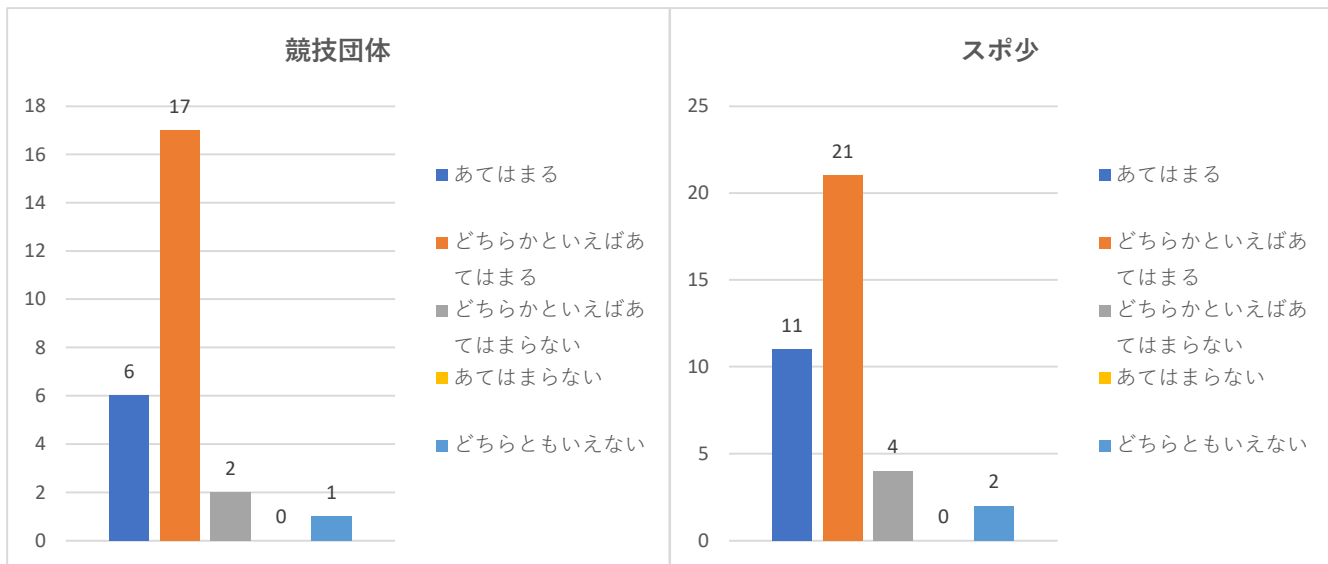
6-1-④ 団体運営を行う者の世代交代ができています

区分	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	どちらとも いえ ない	合計
競技団体	0	7	9	9	1	26
スポ少	1	12	13	9	3	38
全体	1	19	22	18	4	64



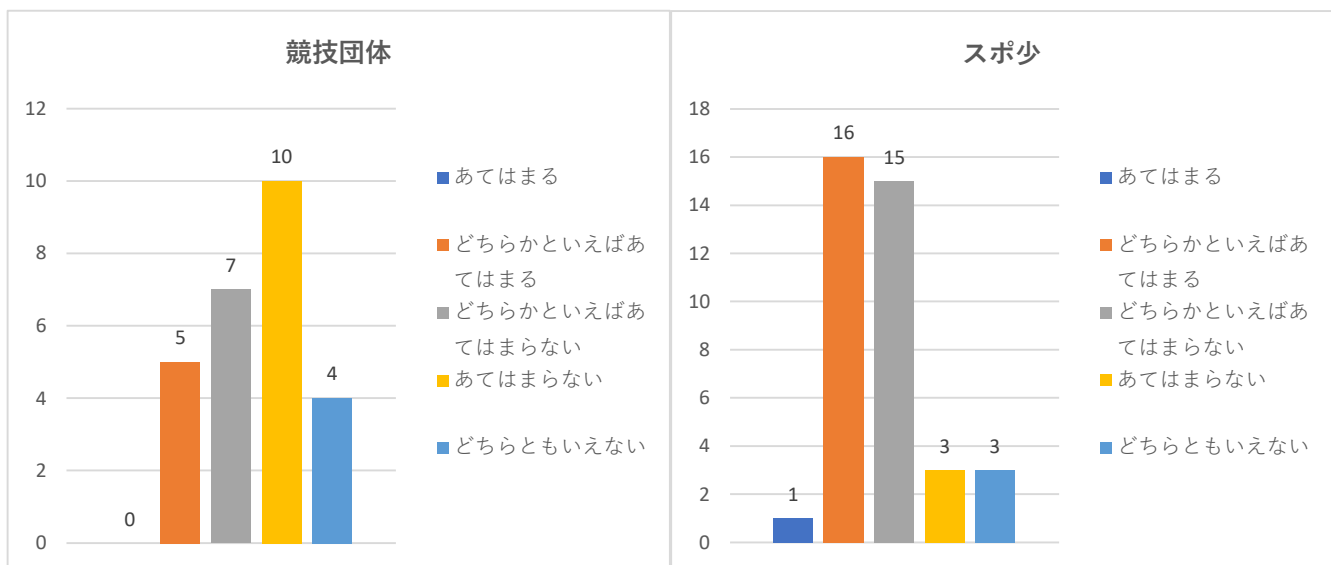
6-1-⑤ 団体内の連携が強い

区分	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	どちらとも いえない	合計
競技団体	6	17	2	0	1	26
スポ少	11	21	4	0	2	38
全体	17	38	6	0	3	64



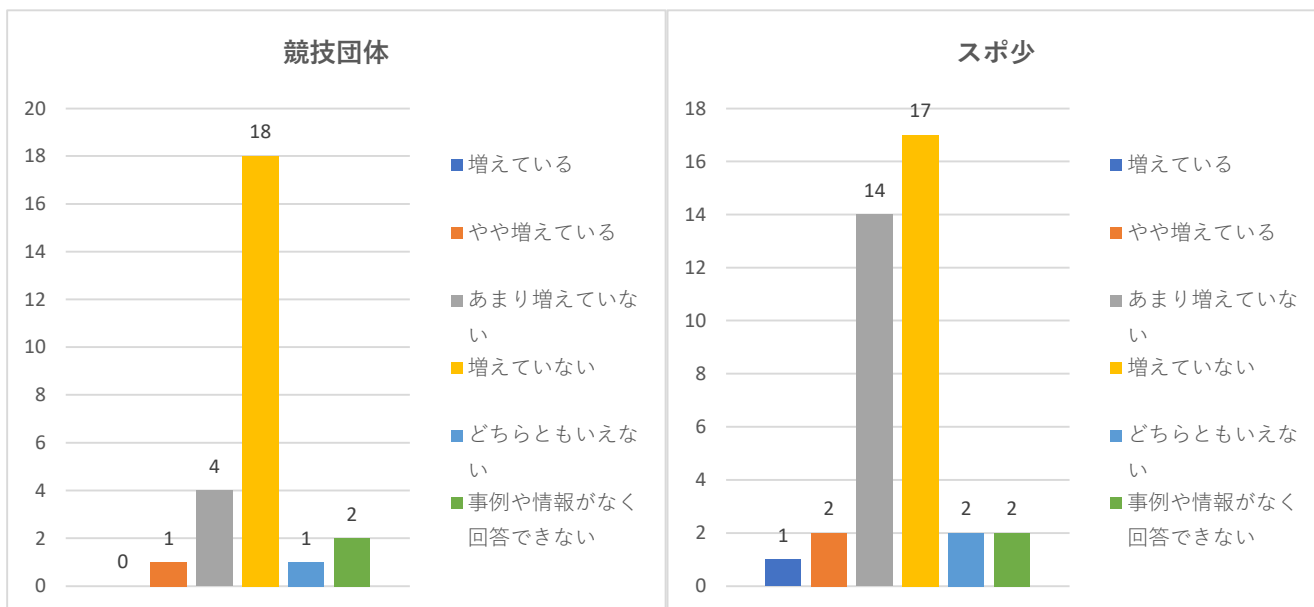
6-1-⑥ 他のスポーツ関係者団体との連携が強い

区分	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	どちらとも いえない	合計
競技団体	0	5	7	10	4	26
スポ少	1	16	15	3	3	38
全体	1	21	22	13	7	64



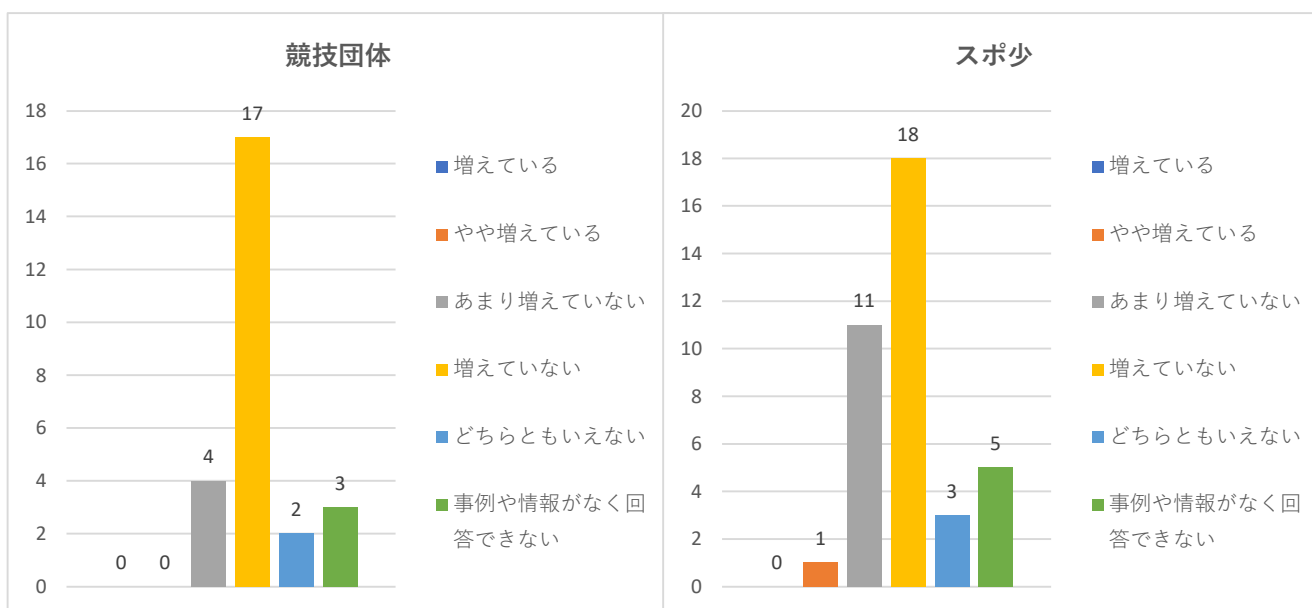
6-2-① 小中学生のスポーツ人口

区分	増えている	やや増えている	あまり増えていない	増えていない	どちらともいえない	事例や情報がなく回答できない	合計
競技団体	0	1	4	18	1	2	26
スポ少	1	2	14	17	2	2	38
全体	1	3	18	35	3	4	64



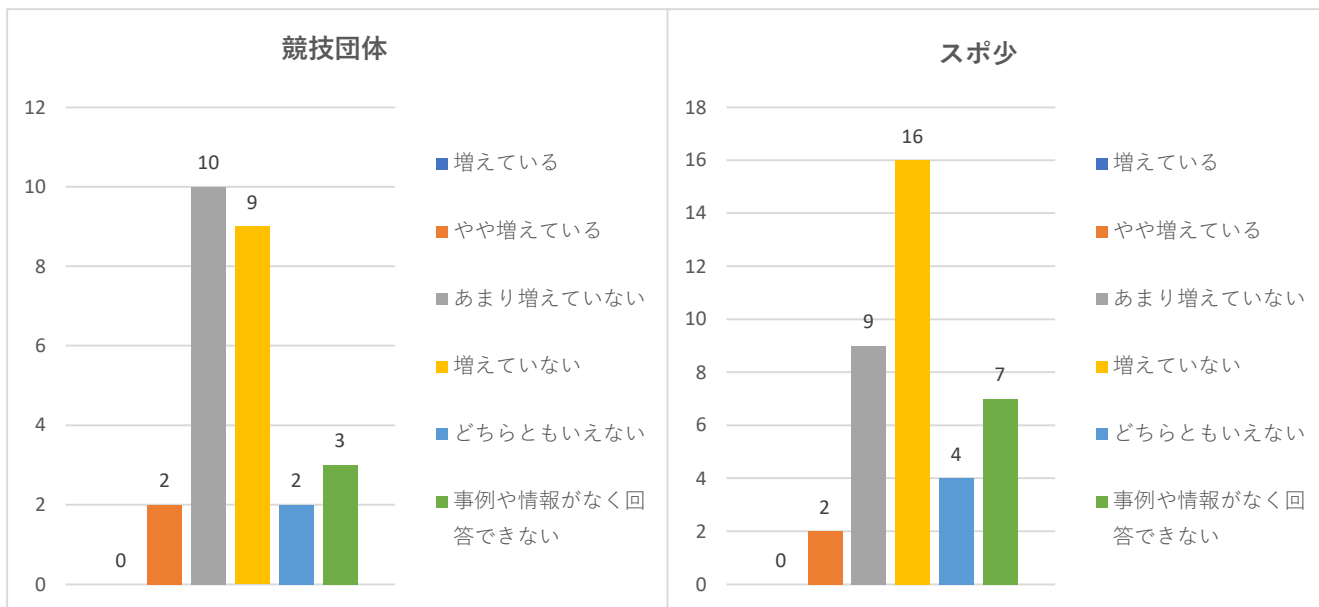
6-2-② 高校生のスポーツ人口

区分	増えている	やや増えている	あまり増えていない	増えていない	どちらともいえない	事例や情報がなく回答できない	合計
競技団体	0	0	4	17	2	3	26
スポ少	0	1	11	18	3	5	38
全体	0	1	15	35	5	8	64



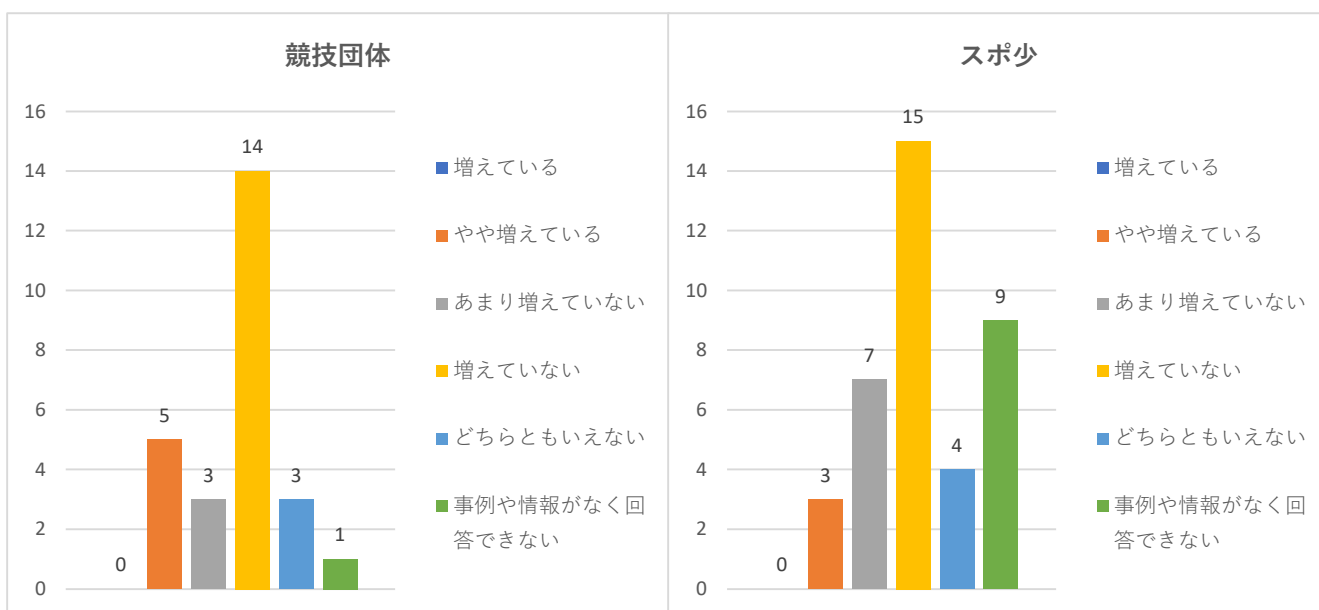
6-2-③ 一般のスポーツ人口

区分	増えている	やや増えている	あまり増えていない	増えていない	どちらともいえない	事例や情報がなく回答できない	合計
競技団体	0	2	10	9	2	3	26
スポ少	0	2	9	16	4	7	38
全体	0	4	19	25	6	10	64



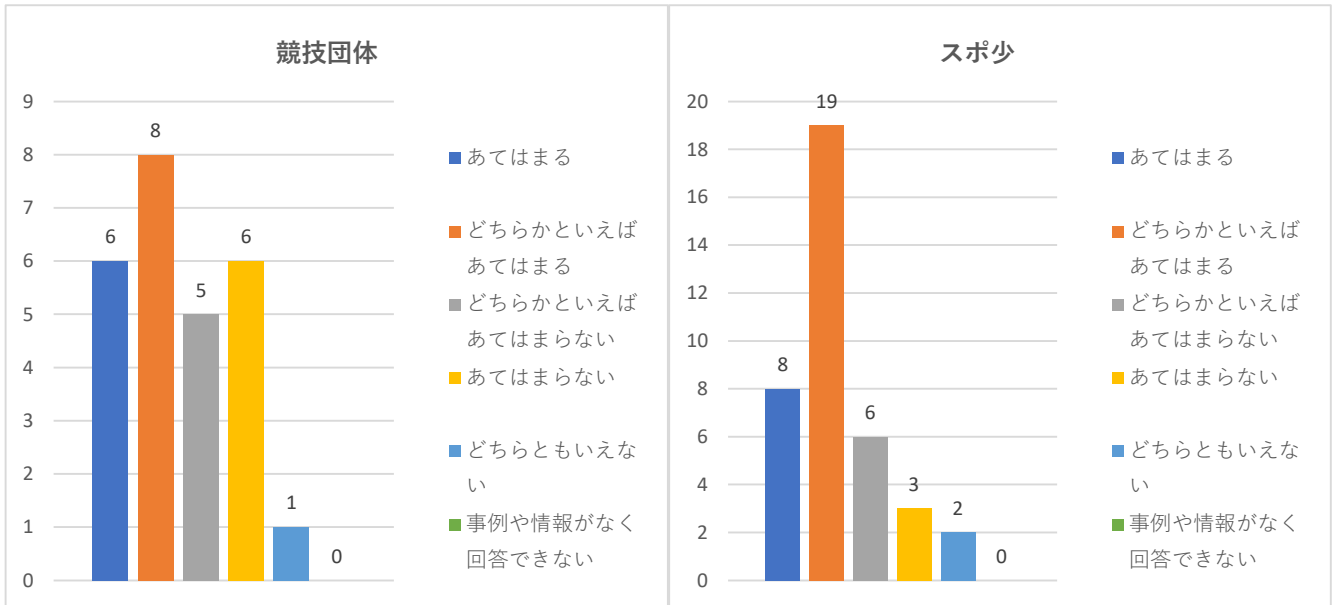
6-2-④ 高齢者のスポーツ人口

区分	増えている	やや増えている	あまり増えていない	増えていない	どちらともいえない	事例や情報がなく回答できない	合計
競技団体	0	5	3	14	3	1	26
スポ少	0	3	7	15	4	9	38
全体	0	8	10	29	7	10	64



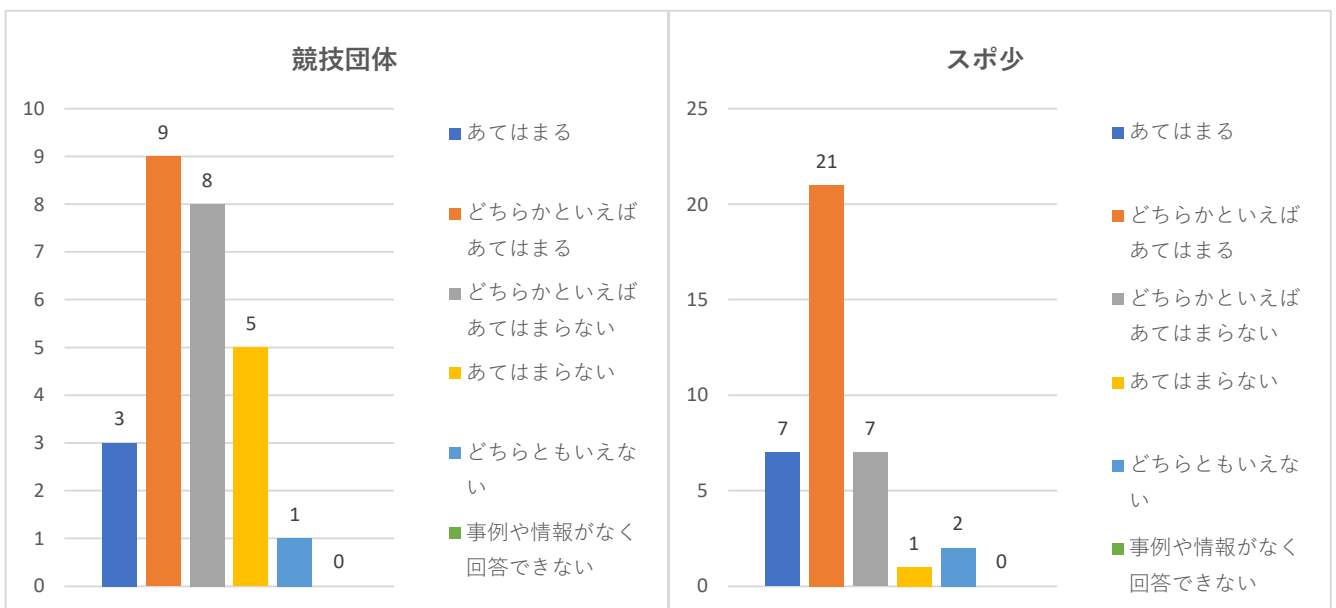
6-3-① 指導者が確保できている（有資格者）

区分	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはまら ない	どちらとも いえない	事例や情報 がなく回答 できない	合計
競技団体	6	8	5	6	1	0	26
スポ少	8	19	6	3	2	0	38
全体	14	27	11	9	3	0	64



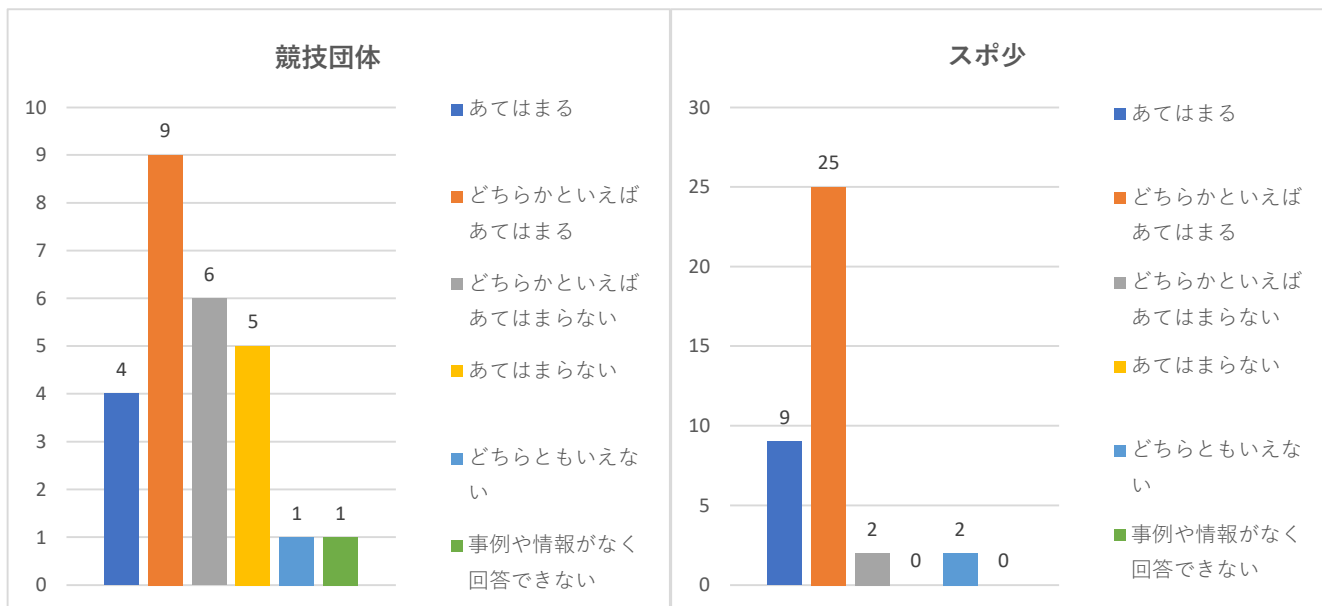
6-3-② 指導者がうまく活用されている

区分	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはまら ない	どちらとも いえない	事例や情報 がなく回答 できない	合計
競技団体	3	9	8	5	1	0	26
スポ少	7	21	7	1	2	0	38
全体	10	30	15	6	3	0	64



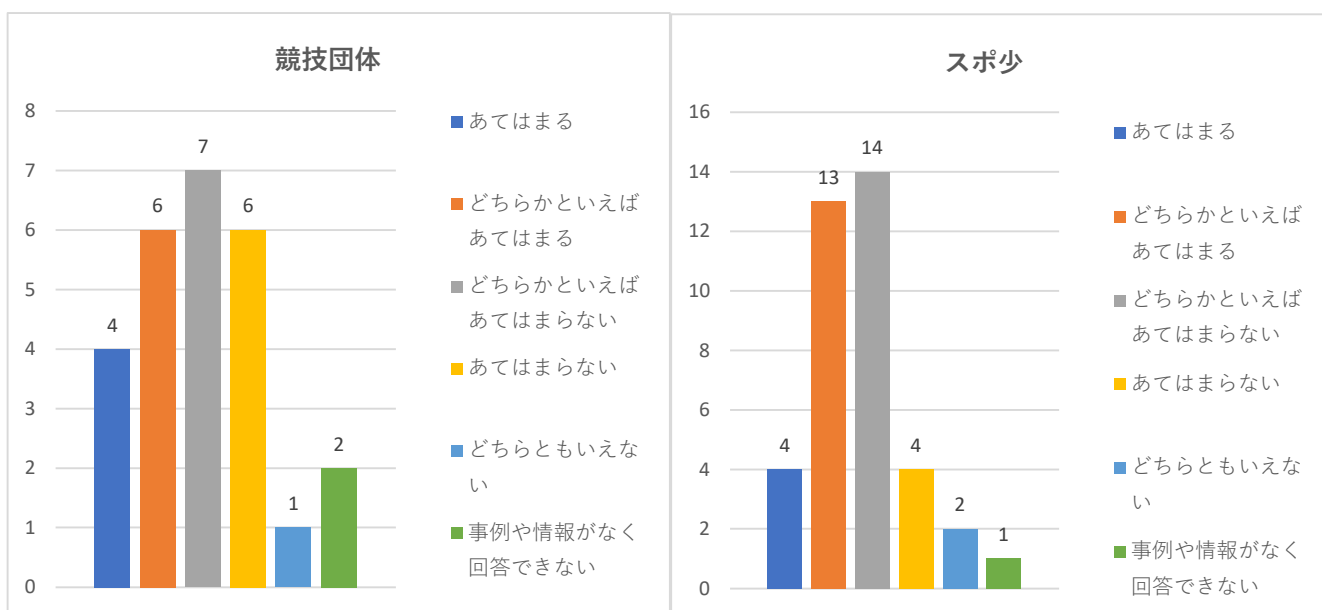
6-3-③ 一貫した指導が行われている

区分	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	どちらとも いえない	事例や情報 がなく回答 できない	合計
競技団体	4	9	6	5	1	1	26
スポ少	9	25	2	0	2	0	38
全体	13	34	8	5	3	1	64



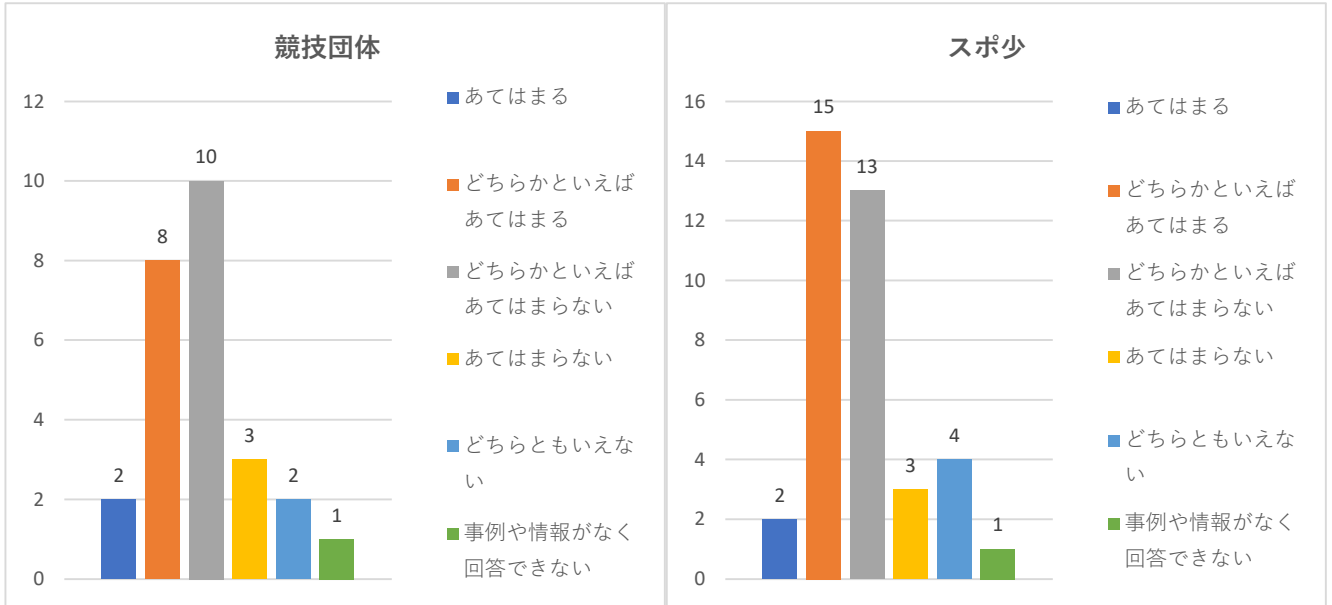
6-3-④ 審判員が十分確保されている

区分	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	どちらとも いえない	事例や情報 がなく回答 できない	合計
競技団体	4	6	7	6	1	2	26
スポ少	4	13	14	4	2	1	38
全体	8	19	21	10	3	3	64



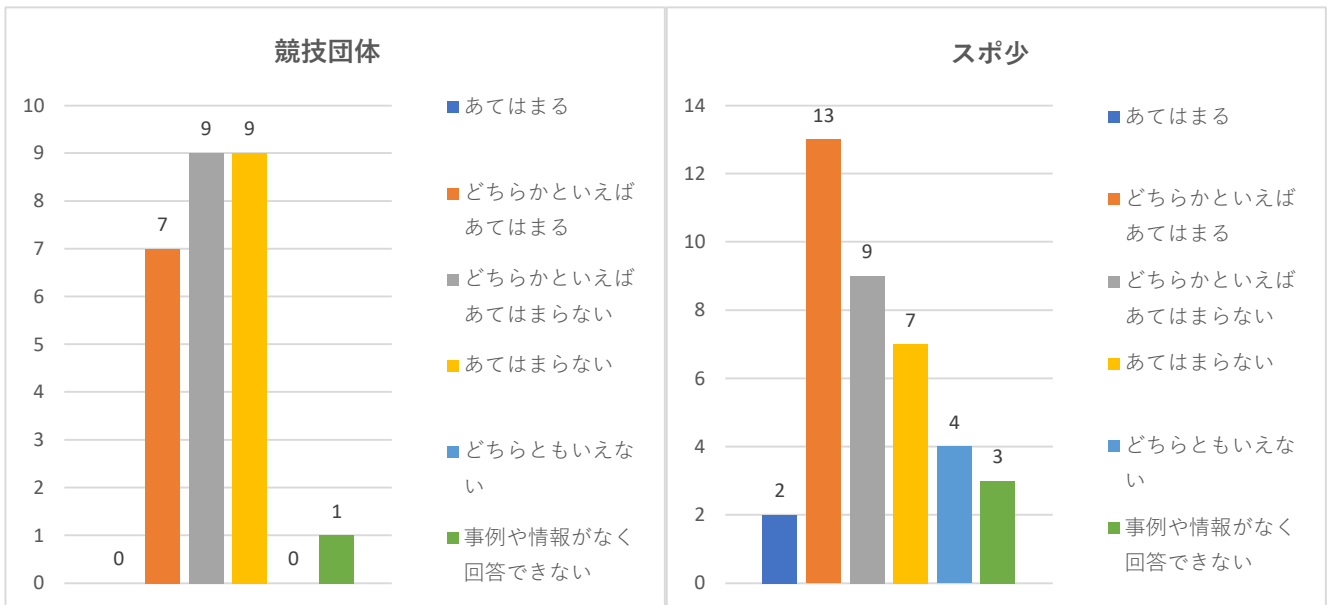
6-4-① 大会等における成績が向上している

区分	あてはまる	どちらかといえはあてはまる	どちらかといえはあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない	事例や情報がなく回答できない	合計
競技団体	2	8	10	3	2	1	26
スポ少	2	15	13	3	4	1	38
全体	4	23	23	6	6	2	64



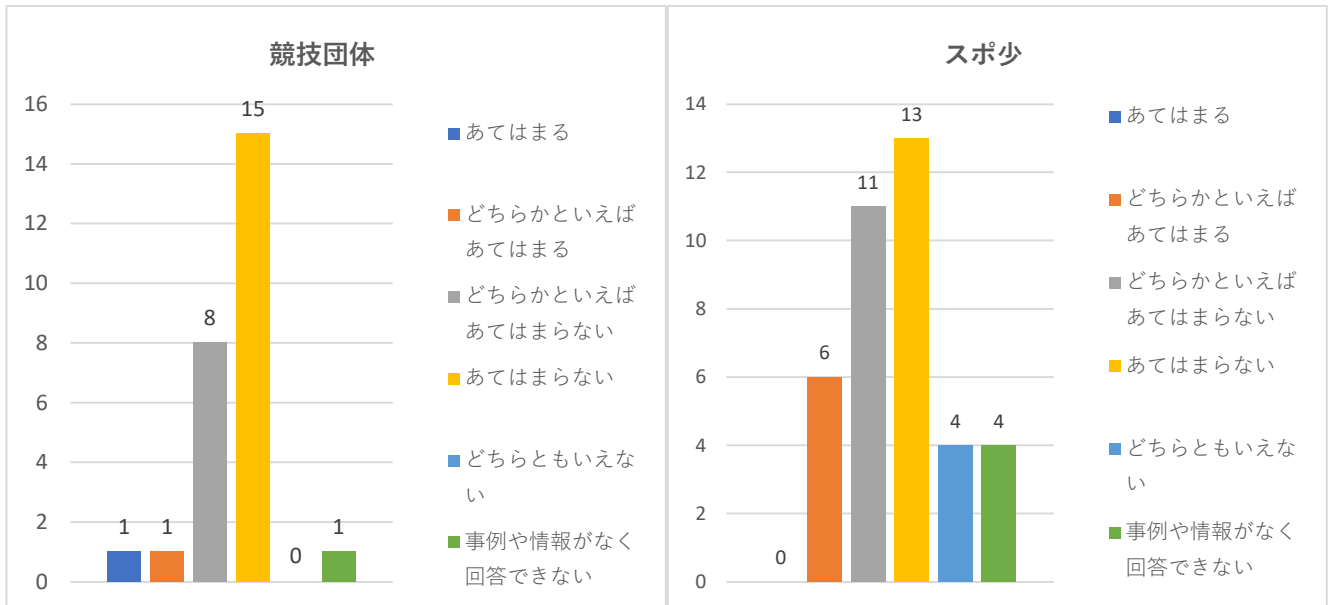
6-4-② 選手強化が定期的に行われている

区分	あてはまる	どちらかといえはあてはまる	どちらかといえはあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない	事例や情報がなく回答できない	合計
競技団体	0	7	9	9	0	1	26
スポ少	2	13	9	7	4	3	38
全体	2	20	18	16	4	4	64



6-4-③ 選手強化費用が確保できている

区分	あてはまる	どちらかといえはあてはまる	どちらかといえはあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない	事例や情報がなく回答できない	合計
競技団体	1	1	8	15	0	1	26
スポ少	0	6	11	13	4	4	38
全体	1	7	19	28	4	5	64



▼団体の現状から課題となっていること

小中高校生の競技継続人口が減少している。

中学校・高校の部活動に種目が少ないため小学校でやめてしまうことが多い。

児童数の減少に伴う団員確保、合同チームになったことに伴う活動場所の選定。

人数がギリギリで、低学年と高学年と一緒に活動することになり、体格や力の差が大きく危険が伴う。

高齢化で年々会員数が減少し、体験教室等を開催しているがなかなか会員増に至らない。

入会者の募集が上手くなされていない。

女性会員が少ないため、女性アスリートの管理に難儀している。

指導者の確保は特に難しく、他の支部等から指導者を招聘したり、合同稽古等で補っている。

運営、指導に関わる人材の高齢化など、時代に組織が適応しなくなっている。

団員が増えた時の指導者不足。

働き方改革や部活動地域移行との関連。

有望選手の県外流出。

運営体制の強化や一般社会人の競技力向上、運営資金の確保、生涯スポーツとしての認知など。

スポーツを通じた子ども達の健全育成を指導者が勉強し、保護者にも理解してもらっている。

事務局の世代交代が難しい。

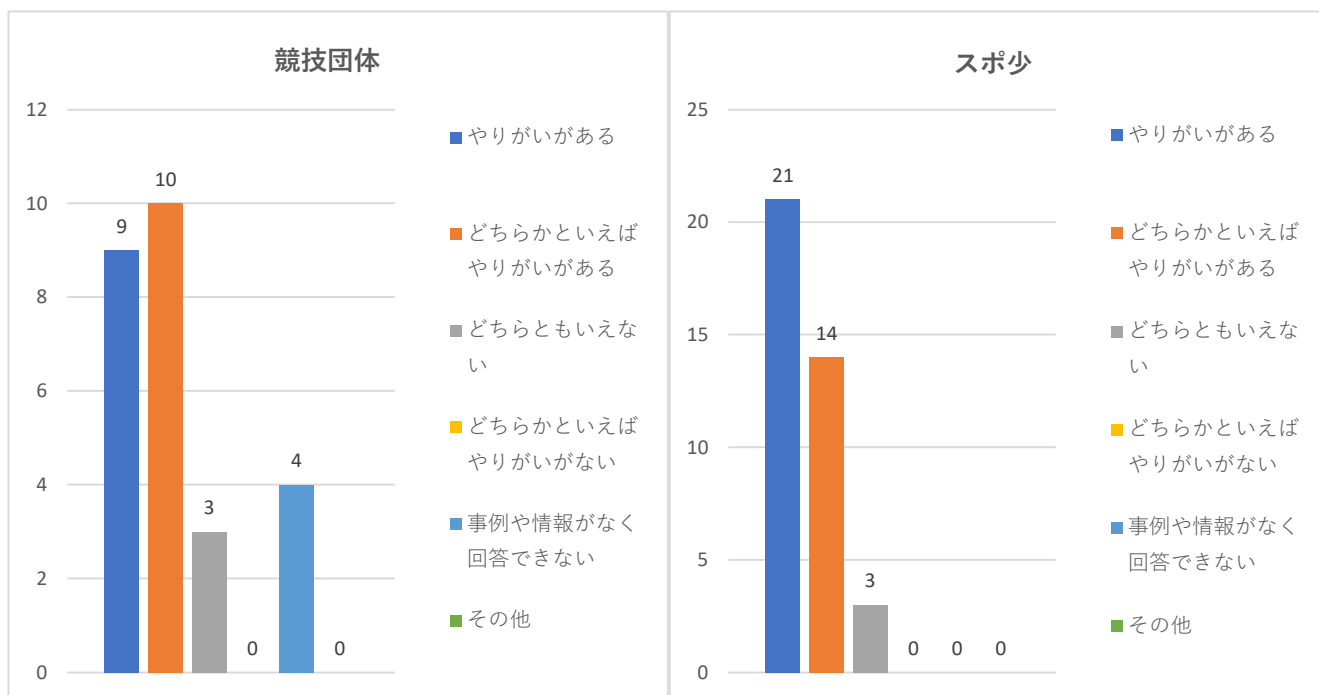
競技に取り組む目的がそれぞれで異なり、それに合わせた指導に苦慮している。

県協会主催大会等への役員派遣等に留まっており、自主事業を開催できていない。

保護者の間でスポーツを行うためのハードルが高くなっており、活動に消極的。

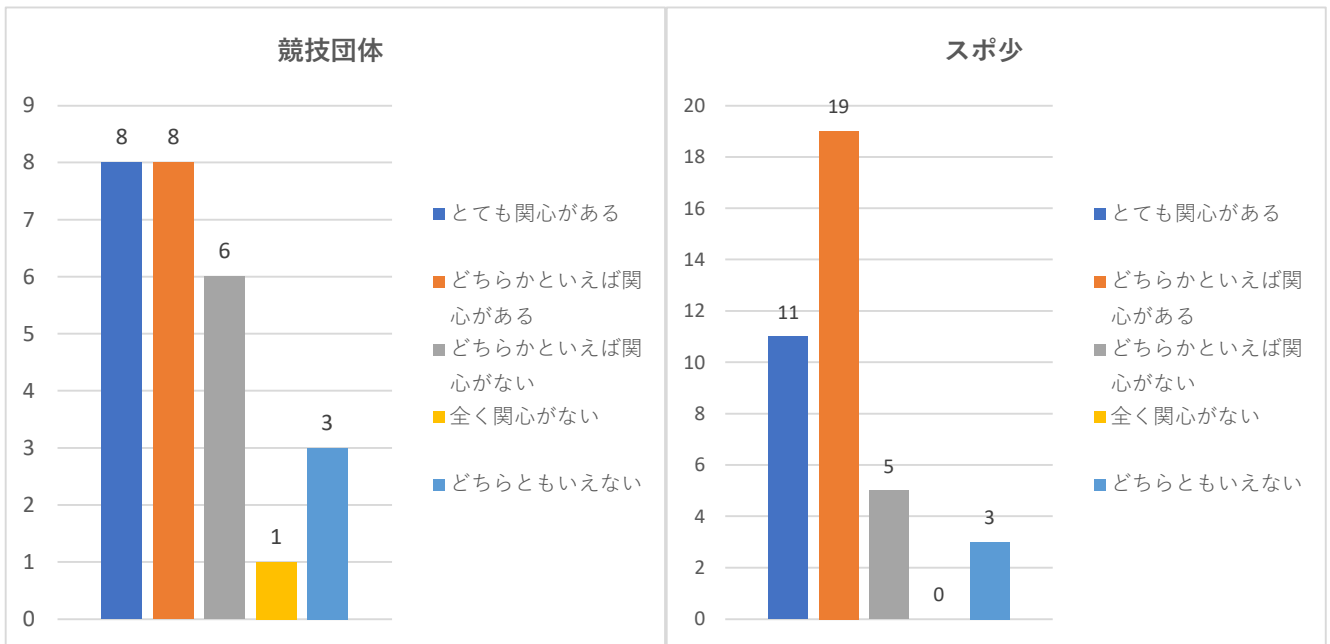
7 スポーツを通じた児童・生徒の指導について、どのように感じているか

区分	やりがいがある	どちらかといえばやりがいがある	どちらともいえない	どちらかといえばやりがいがない	事例や情報がなく回答できない	その他	合計
競技団体	9	10	3	0	4	0	26
スポ少	21	14	3	0	0	0	38
全体	30	24	6	0	4	0	64



8-1 中学校部活動地域展開に関心があるか

区分	とても関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	全く関心がない	どちらともいえない	合計
競技団体	8	8	6	1	3	26
スポ少	11	19	5	0	3	38
全体	19	27	11	1	6	64



▼理由

生徒のためにも、専門性のある指導ができる。

選択肢が増えることで競技人口の増加が期待できる。

一般社会とのふれ合いと理解を得るため必要と思われる。

中学校でスポーツを続ける環境が難しくなっており、中学校進路選択もあり早く進めてほしい。

団体（学校単位）で大会に出場できるようになり、競技力の向上につながる。

武道に関しては、子どもたちの安全性を考慮して、一定以上の有段者に任せるべき。

学校体育のスポ少化を例に可能なはずだが、求められるレベルが高くなり、指導者の確保が懸念される。

県南の高校に希望種目がなく、優秀でも中学進学を機に辞めるか、中央地区や県外に進学する例がある。

教員のワークバランスを考慮すれば、部活動の地域展開は時代の流れであり、無関心ではいられない。

指導者にどのような影響を与えるものなのか、もっと情報が欲しい。

指導者の確保など、不安な面や協会としてどう対応していくのか関心がある。

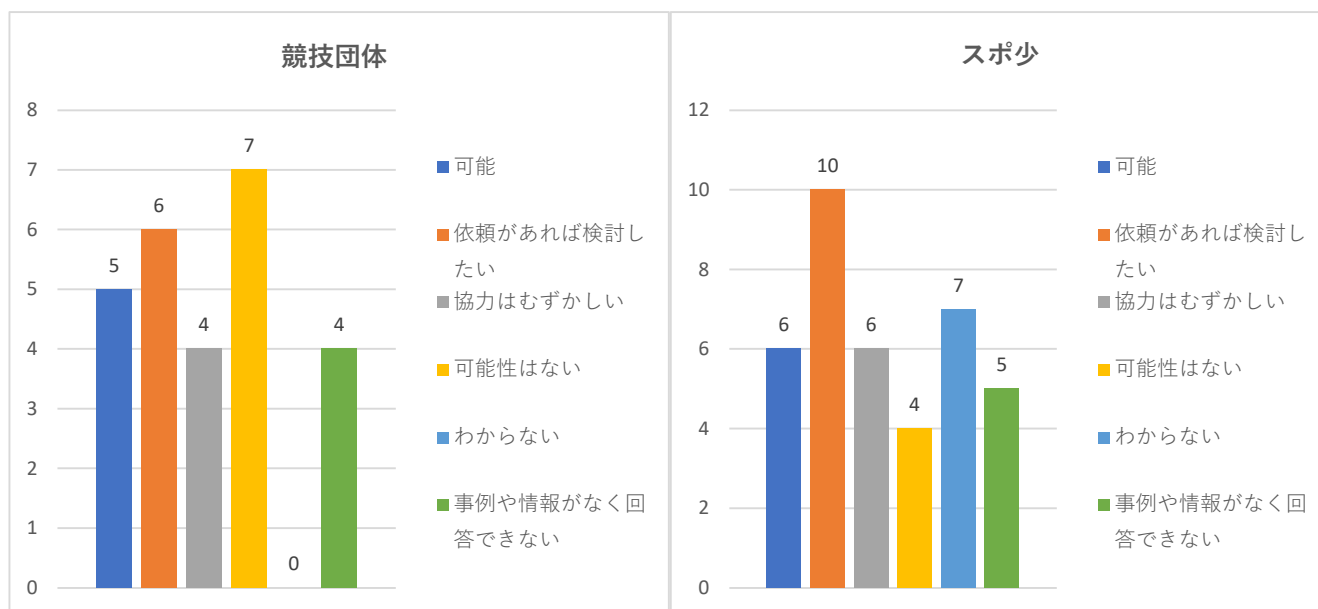
活動機会が増え成長が期待できる一方、クラブは専門的で、知り合いが等がいなければ参加しにくい印象。

将来も継続して競技を行える環境の確保ができるのか不安。

学校の部活動が満足な活動ができておらず、選手が外部に流れることで、活動できなくなる悪循環にある。

8-2 中学校部活動地域展開の受け皿として協力する可能性

区分	可能	依頼があれば検討したい	協力はむずかしい	可能性はない	わからない	事例や情報がなく回答できない	合計
競技団体	5	6	4	7	0	4	26
スポ少	6	10	6	4	7	5	38
全体	11	16	10	11	7	9	64



▼中学校部活動地域展開の受け皿に関する協力の条件

活動時間や指導の対価、責任の所在などが、指導者の確保に向けた条件。

当団体では、練習相手の派遣や講習会の開催のほか、全国大会経費の助成等を実施している。

ふれ合いながら人間性が豊かになり、競技力向上にも効果がある。

練習場所及び移動手段の確保や大会出場への補助など、既存の部活動と同じ取り扱いが望ましい。

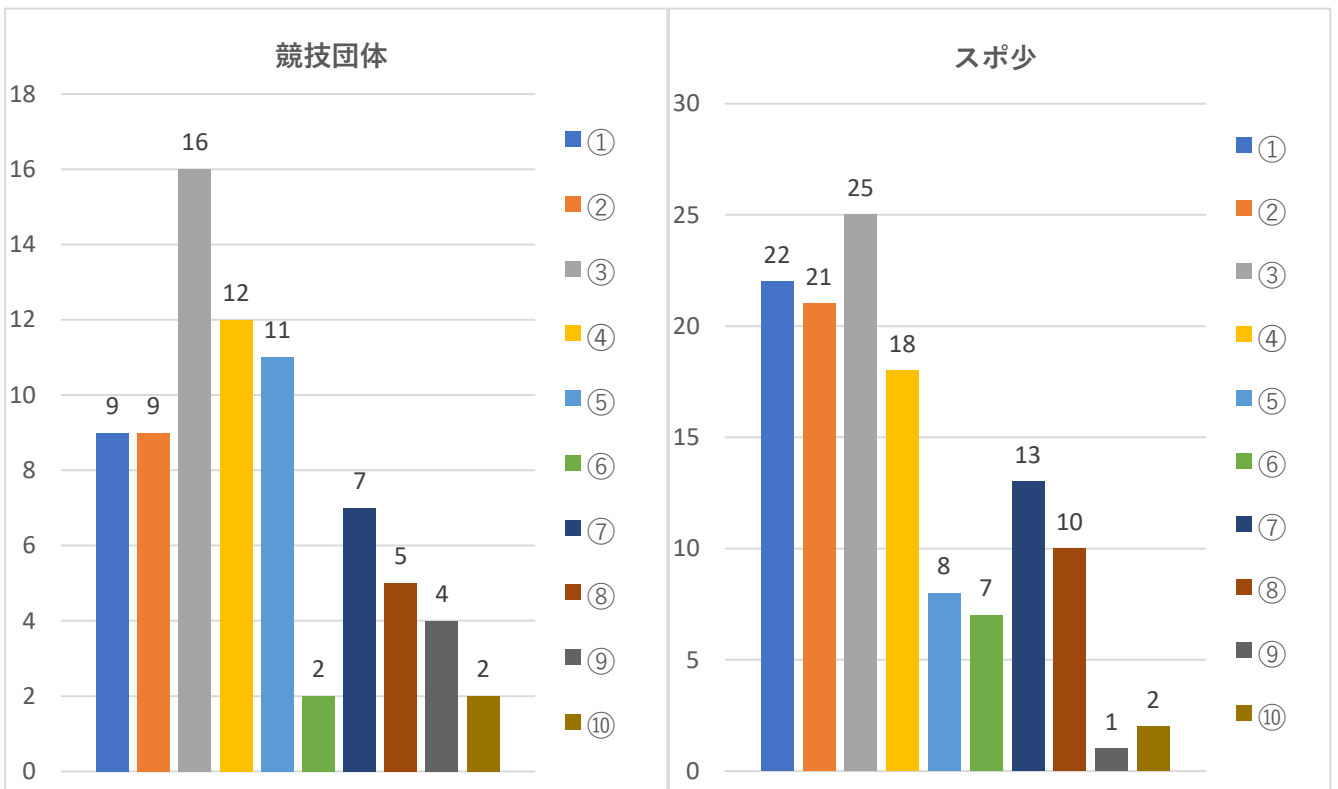
大会に参加できるチーム数が限定され、競技人口が減少する可能性が高い。

必要物品（医薬品、指導用具等）を購入するための予算を確保してほしい。

8-3 中学校部活動地域展開への課題

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
区分	生徒・保護者の地域展開の理解、意識の差	地域クラブ・団体等との連携、体制整備	人材（指導者、運営）の確保及び指導者の人間性	保護者の経済的負担や送迎等の負担	生徒の健康安全確保・事故防止、補償、責任の所在	指導の在り方（体罰・ハラスメント・人間関係）	大会の在り方、参加、引率のしかた
競技団体	9	9	16	12	11	2	7
スポ少	22	21	25	18	8	7	13
全体	31	30	41	30	19	9	20

	⑧	⑨	⑩	合計
区分	活動のガイドライン	事例や情報がなく回答できない	その他	
競技団体	5	4	2	66
スポ少	10	1	2	114
全体	15	5	4	180



▼中学校部活動地域展開についての意見等

教諭も参加する形での地域展開が理想。

中学生が各地域のスポ少等で活動することにより、各地域の活動の活性化につながる。

少人数の活動となるよりいいと思う。

地域展開は、教師の負担軽減となり、生徒が人間性豊かになることで、競技力向上につながる。

クラブへ任せきりにするのではなく、部活動等同様の練習場所確保などに関する学校との連携が必須。

指導者への相応の報酬と、物品購入費の公費負担をしないと、制度が成り立たない。

教員の負担軽減を期待しているが、上部大会の参加資格や、送迎等親の都合で参加できない可能性もある。

指導者が自分の考えを押し付ければ、子供たちの自主性を潰す要因になり、多様性の現代にそぐわない。

考える力を養いつつ、礼儀・礼節を身につけさせるのはスポーツでも武道でも必須。

指導にはある程度適切な人数が必要で、地域展開して学校の枠組みでなく進めるべき。

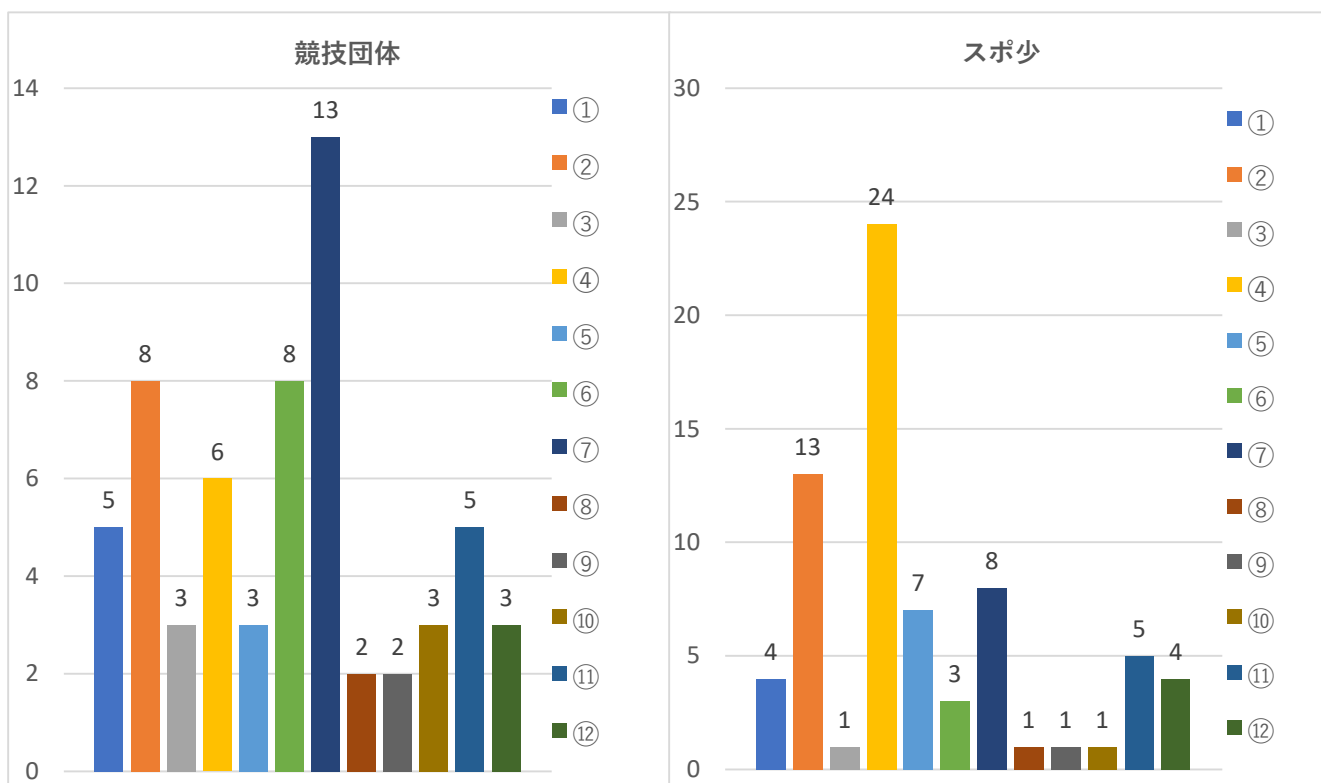
地域展開された競技は、学校祭での活動紹介がないなど、学校部活動競技と同等ではない。

現状では部員を確保できず、どの中学校も共倒れとなる。クラブチームのような形を検討する必要がある。

9 横手市スポーツ協会の運営や、市のスポーツ施策全般についての意見や提案

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
区分	市民スポーツフェスティバルの充実に向けた取り組みをしてほしい	指導者の養成・確保に向けた取り組みを企画・実施してほしい	加盟団体間の連携強化が図れる取り組み・イベントを推進してほしい	スポーツ少年団の育成・活動の充実を推進してほしい	スポーツ大会・スポーツイベントを誘致してほしい	競技力向上への取り組みを推進してほしい	生涯スポーツの普及・啓発を推進してほしい	市内外とのスポーツの交流を促進してほしい
競技団体	5	8	3	6	3	8	13	2
スポ少	4	13	1	24	7	3	8	1
全体	9	21	4	30	10	11	21	3

	⑨	⑩	⑪	⑫	
区分	障がい者スポーツの普及・啓発を推進してほしい	加盟団体の活動について情報発信をしてほしい	スポーツ協会について情報発信をしてほしい	その他	合計
競技団体	2	3	5	3	48
スポ少	1	1	5	4	61
全体	3	4	10	7	109



▼その他意見（横手市スポーツ協会設立20周年記念事業に関連することを含む）

スポーツに取り組む子供たちが増えるような取り組みをしていただきたい

子どもたちが一流プレーを観戦する機会や、ふれあいの場を設定すると競技人口の増加につながると思う。競技思考の小中学生も満足に活動できる環境づくりをお願いしたい。

幼少年の育成に力を入れていただきたい。

大会結果やイベントを、リアルタイムに近い形で発信してほしい。

子ども達に認知されているプロスポーツ選手と触れ合えるイベントを開催してほしい。

プロスポーツ観戦を助成して、意識の向上や競技力向上のきっかけにしてほしい。

各競技の招待試合やイベントを行い、20周年事業を大々的に行って欲しいと思う。

現行の市民スポーツフェスティバルに20周年記念の冠をつけることを考えている。

スポーツ各方面の関係者が集うような、お祝いイベントを開催してほしい。

横手市立体育館で、プロスポーツ試合を多数開催してほしい。

横手市立体育館での各大会、イベントを継続していけるように、誘致や情報発信を期待したい。

スポーツだけでなく文化行事も開催してほしい。

横手市スポーツアンバサダーを任期付きで任用し、市のPRを進めてほしい。

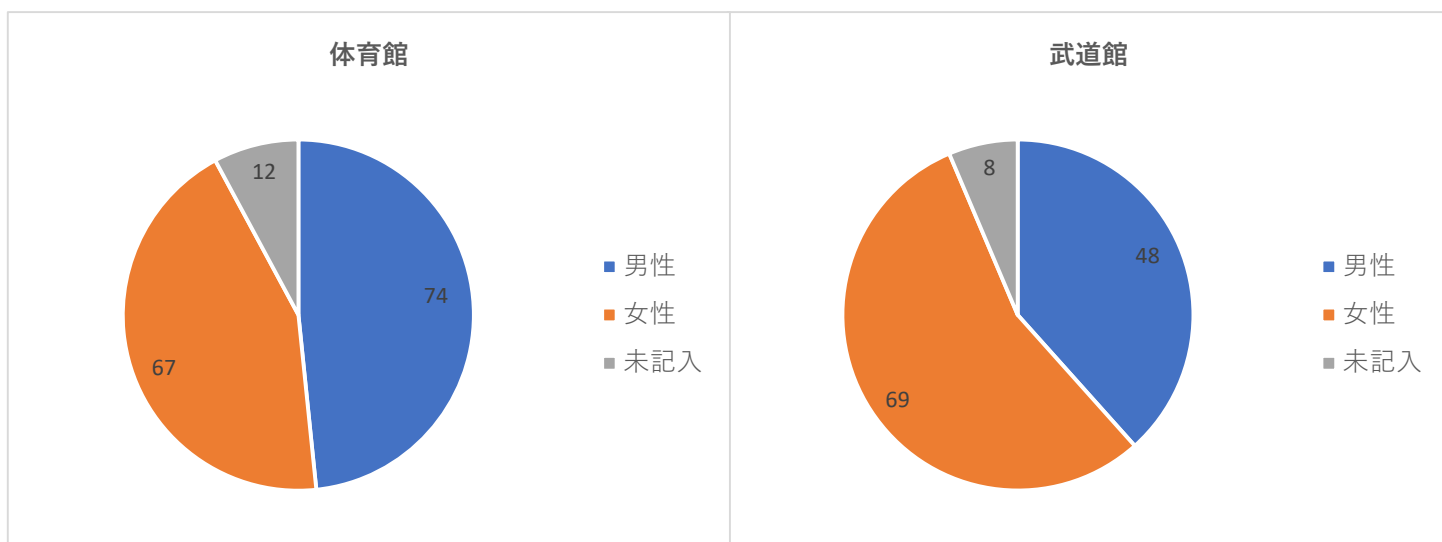
一般財団法人 横手市スポーツ協会
第 3 期将来構想

資料編

【令和 5 年度実施 施設利用者アンケート調査】

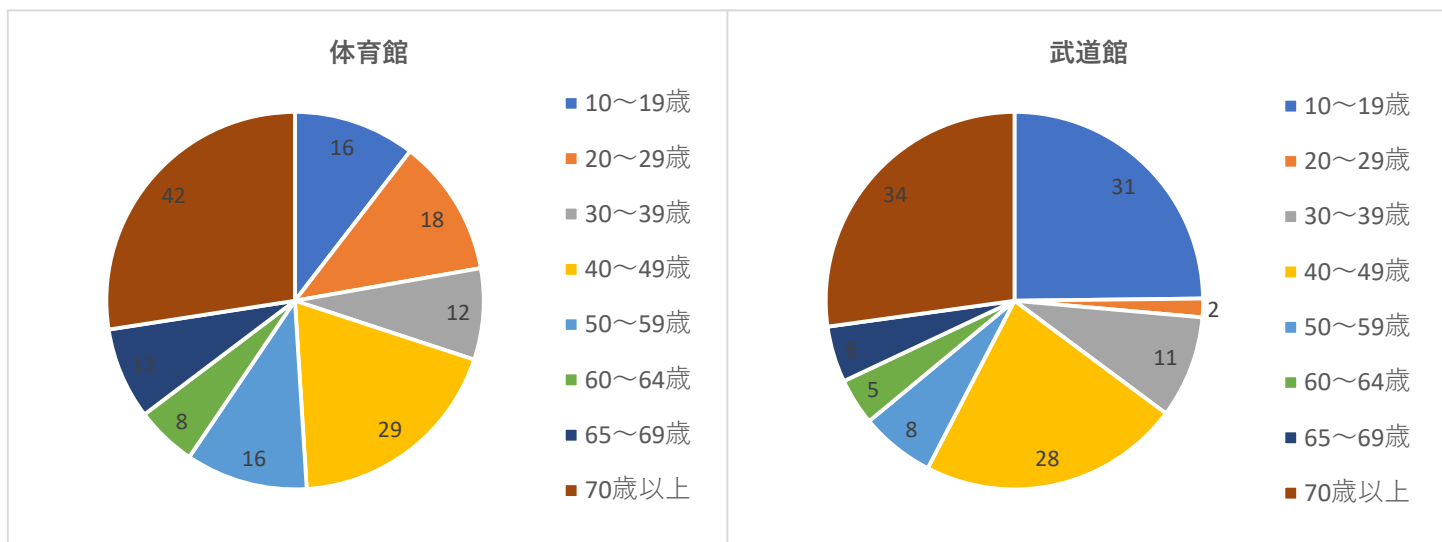
1-1 性別

区分	男性	女性	未記入	合計
体育館	74	67	12	153
武道館	48	69	8	125
全体	122	136	20	278



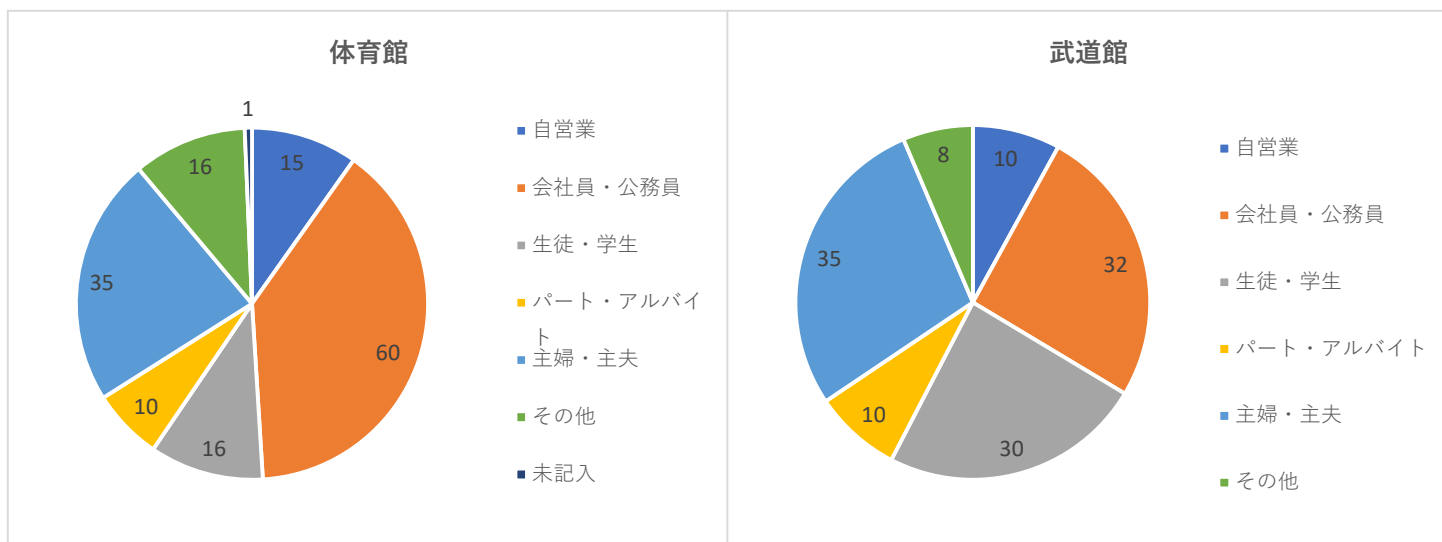
1-2 年齢

区分	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	未記入	合計
体育館	16	18	12	29	16	8	12	42	0	153
武道館	31	2	11	28	8	5	6	34	0	125
全体	47	20	23	57	24	13	18	76	0	278



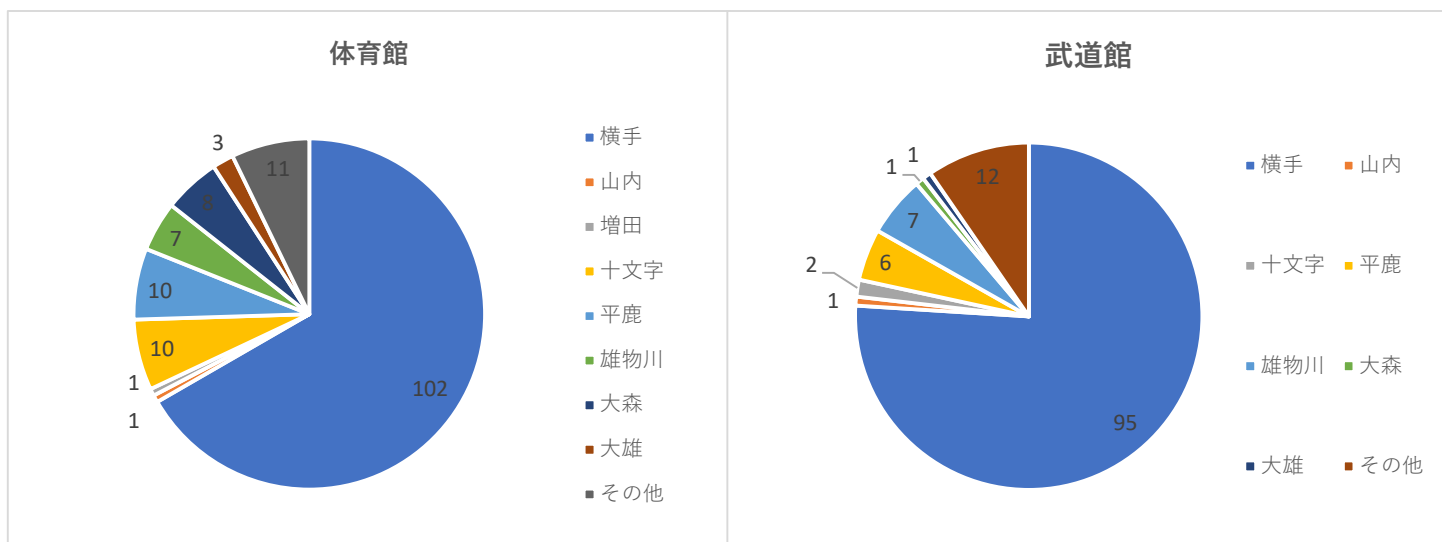
1-3 職業

区分	自営業	会社員・公務員	生徒・学生	パート・アルバイト	主婦・主夫	その他	未記入	合計
体育館	15	60	16	10	35	16	1	153
武道館	10	32	30	10	35	8	0	125
全体	25	92	46	20	70	24	1	278



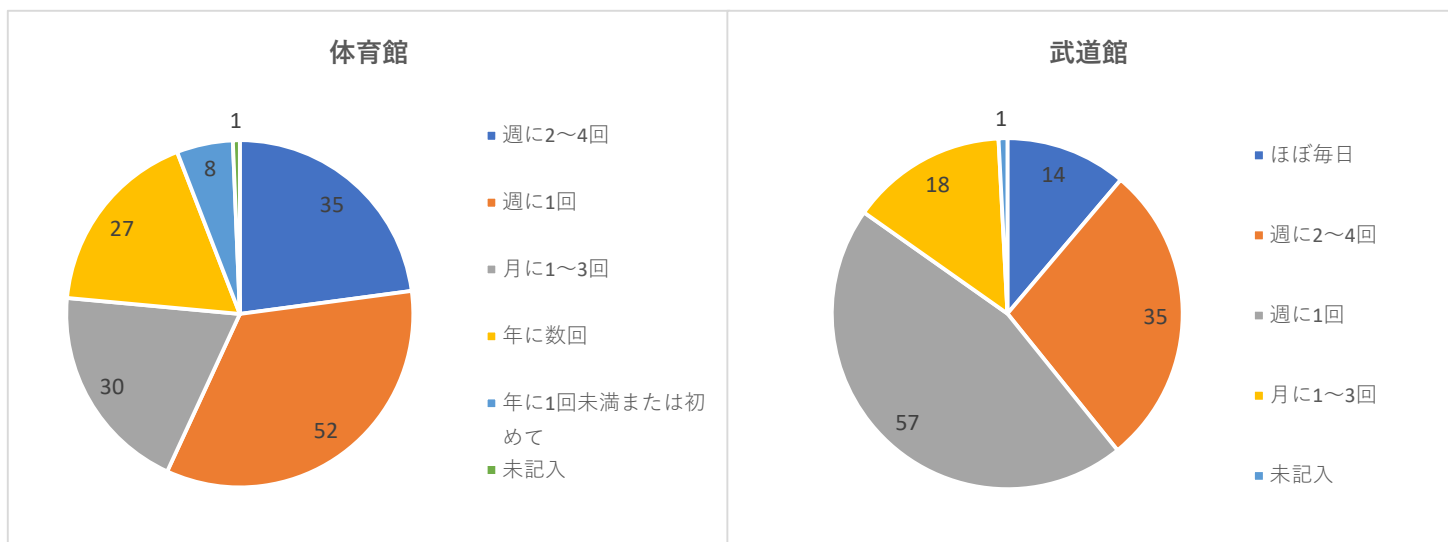
1-4 住まい

区分	横手	山内	増田	十文字	平鹿	雄物川	大森	大雄	その他	未記入	合計
体育館	102	1	1	10	10	7	8	3	11	0	153
武道館	95	1	0	2	6	7	1	1	12	0	125
全体	197	2	1	12	16	14	9	4	23	0	278



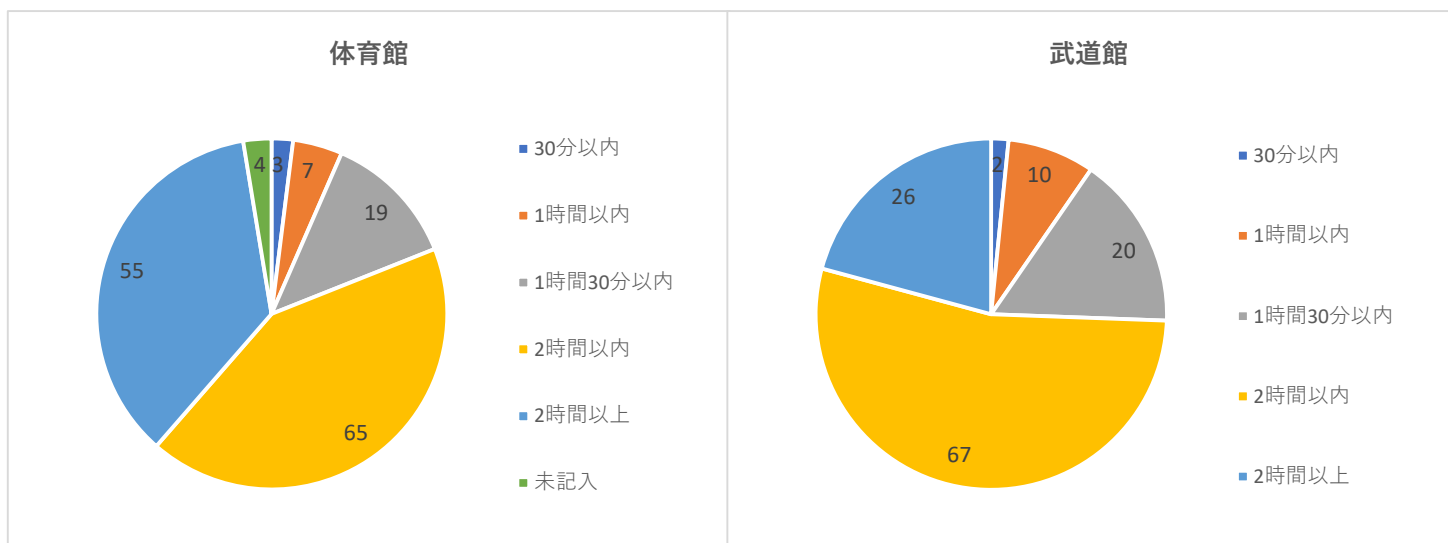
1-5 利用頻度

区分	ほぼ毎日	週に2~4回	週に1回	月に1~3回	年に数回	年に1回未満または初めて	未記入	合計
体育館	0	35	52	30	27	8	1	153
武道館	14	35	57	18	0	0	1	125
全体	14	70	109	48	27	8	2	278



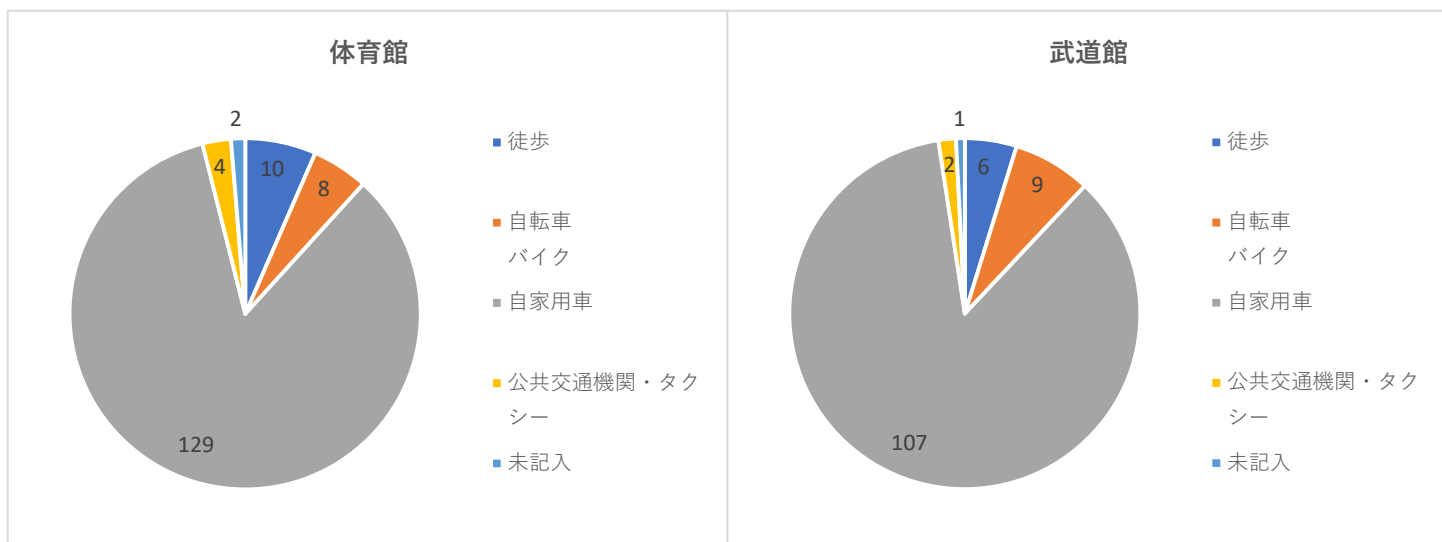
1-6 利用時間

区分	30分以内	1時間以内	1時間30分以内	2時間以内	2時間以上	未記入	合計
体育館	3	7	19	65	55	4	153
武道館	2	10	20	67	26	0	125
全体	5	17	39	132	81	4	278



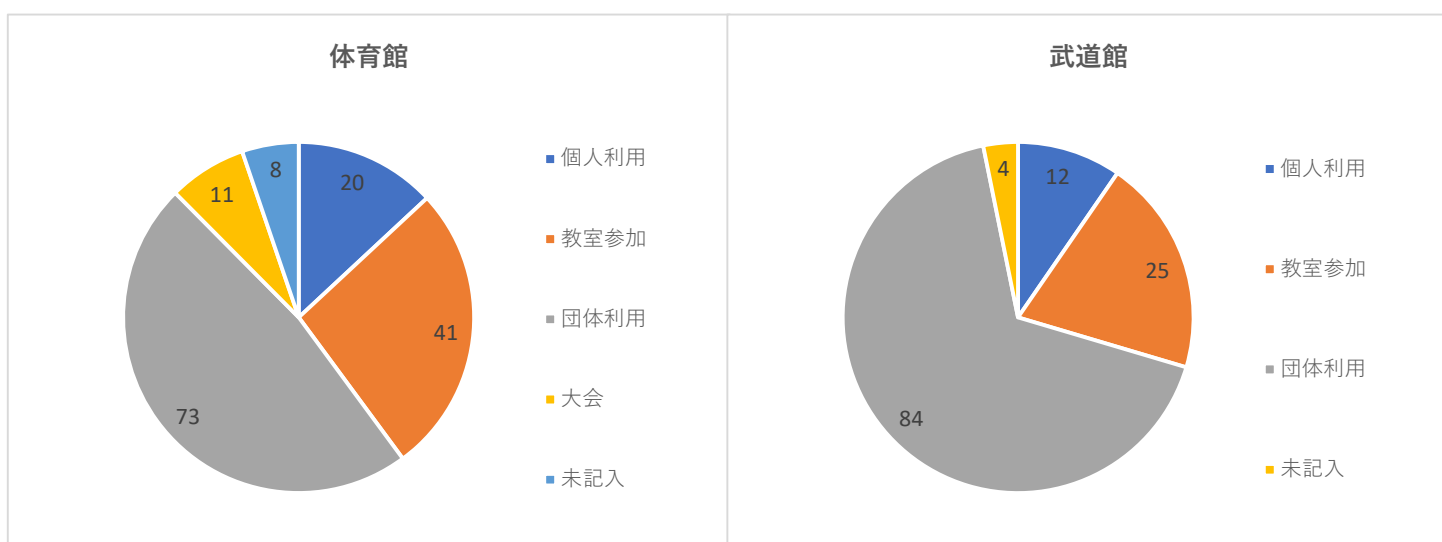
1-7 交通手段

区分	徒歩	自転車 バイク	自家用車	公共交通 機関・タク シー	未記入	合計
体育館	10	8	129	4	2	153
武道館	6	9	107	2	1	125
全体	16	17	236	6	3	278



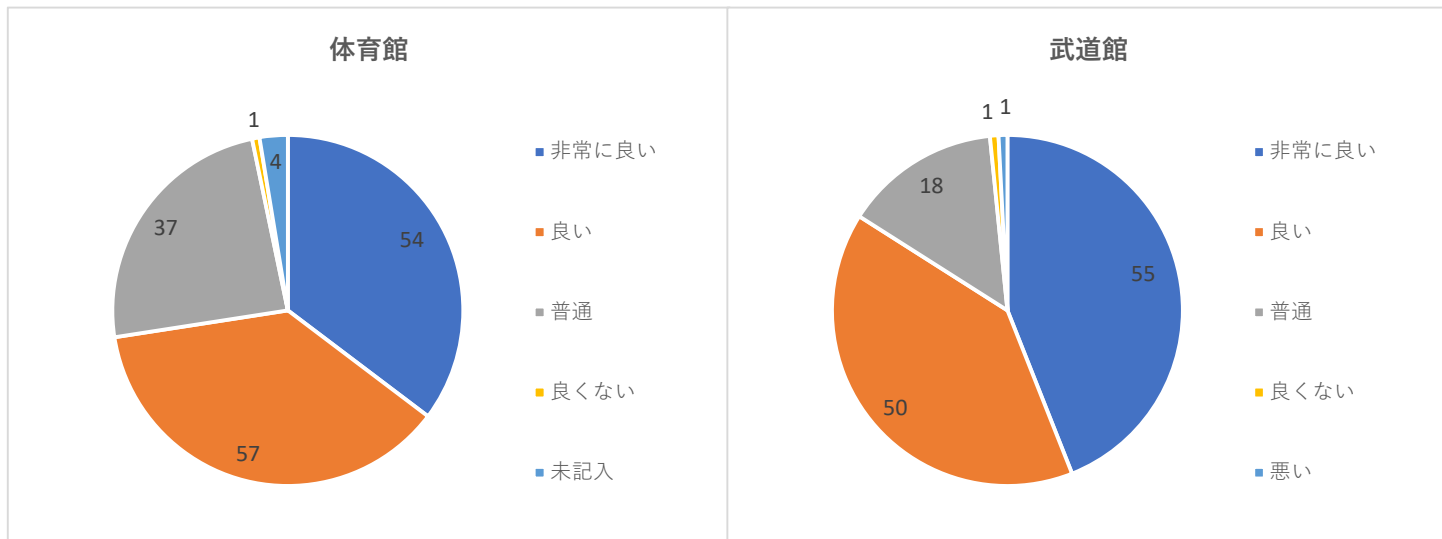
1-8 利用形態

区分	個人利用	教室参加	団体利用	大会	未記入	合計
体育館	20	41	73	11	8	153
武道館	12	25	84	0	4	125
全体	32	66	157	11	12	278



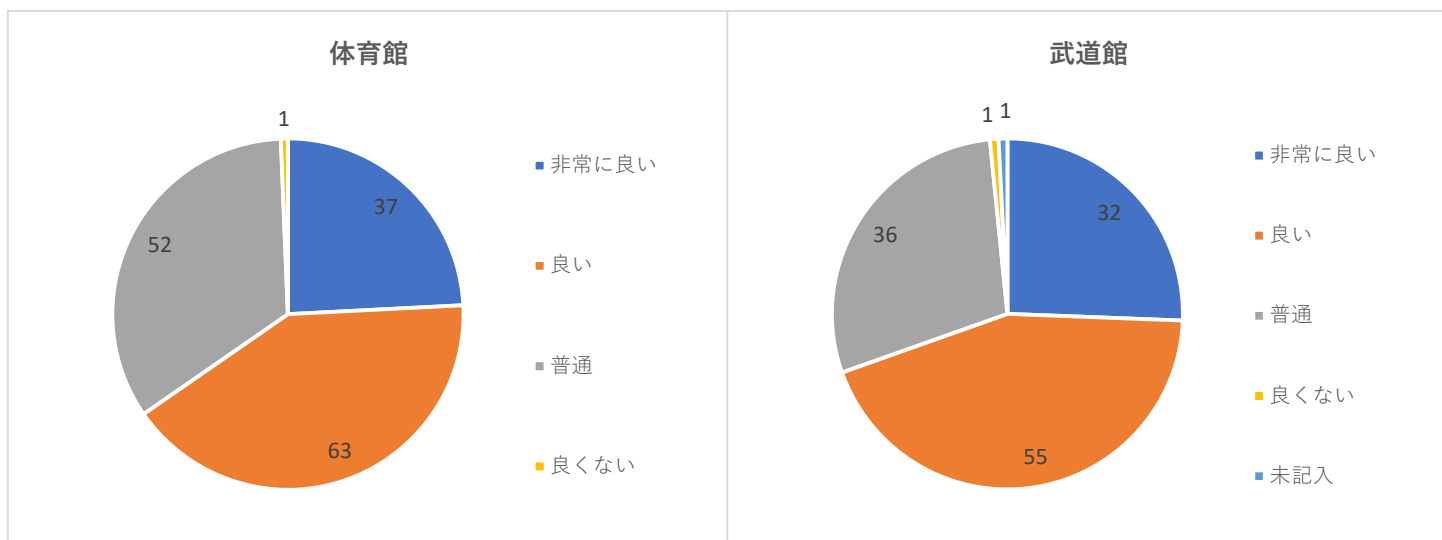
2-1 職員の接客や応対

区分	非常に良い	良い	普通	良くない	悪い	未記入	合計
体育館	54	57	37	1	0	4	153
武道館	55	50	18	1	1	0	125
全体	109	107	55	2	1	4	278



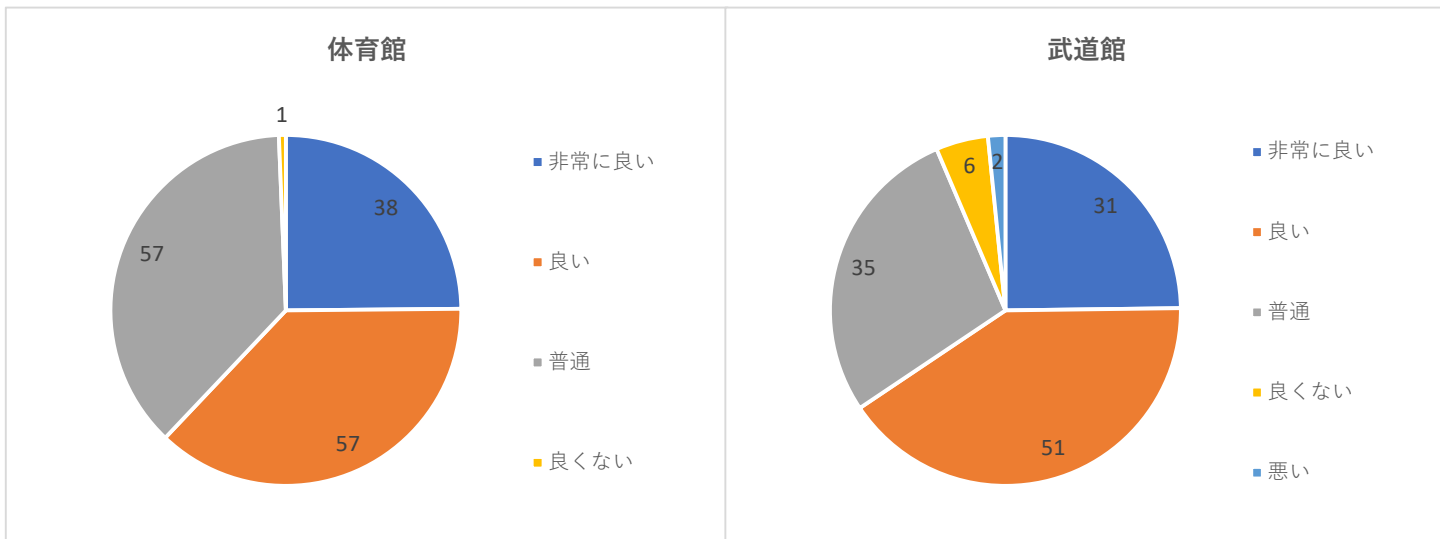
2-2 施設の案内表示

区分	非常に良い	良い	普通	良くない	悪い	未記入	合計
体育館	37	63	52	1	0	0	153
武道館	32	55	36	1	0	1	125
全体	69	118	88	2	0	1	278



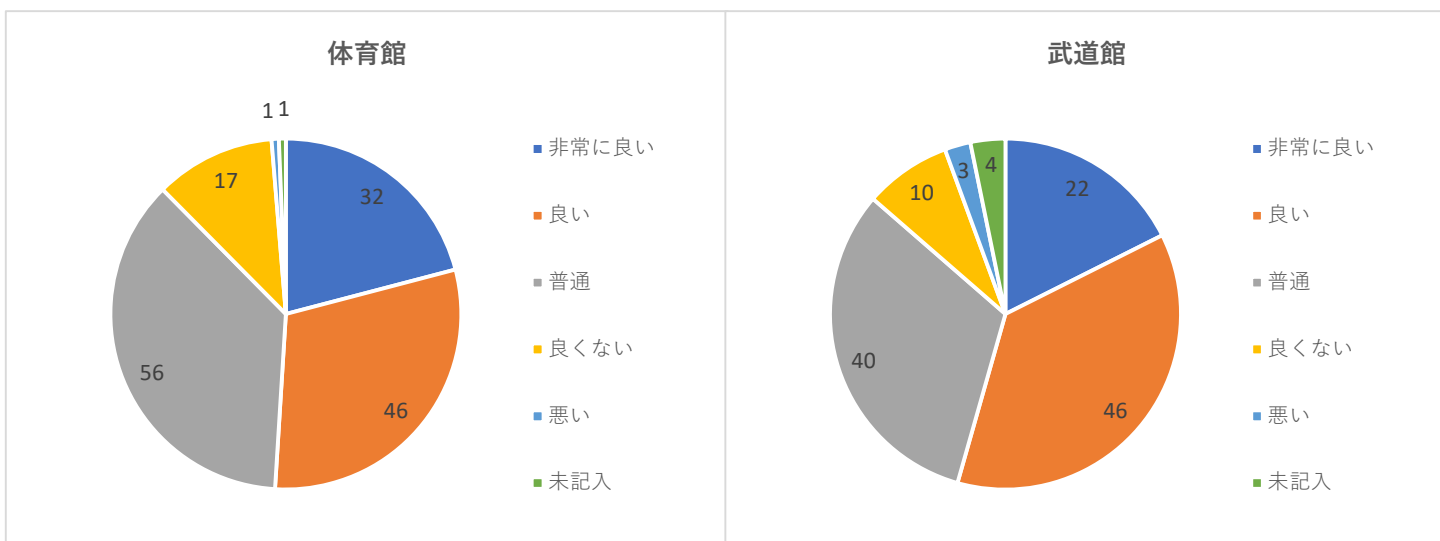
2-3 施設の清潔さ

区分	非常に良い	良い	普通	良くない	悪い	未記入	合計
体育館	38	57	57	1	0	0	153
武道館	31	51	35	6	2	0	125
全体	69	108	92	7	2	0	278



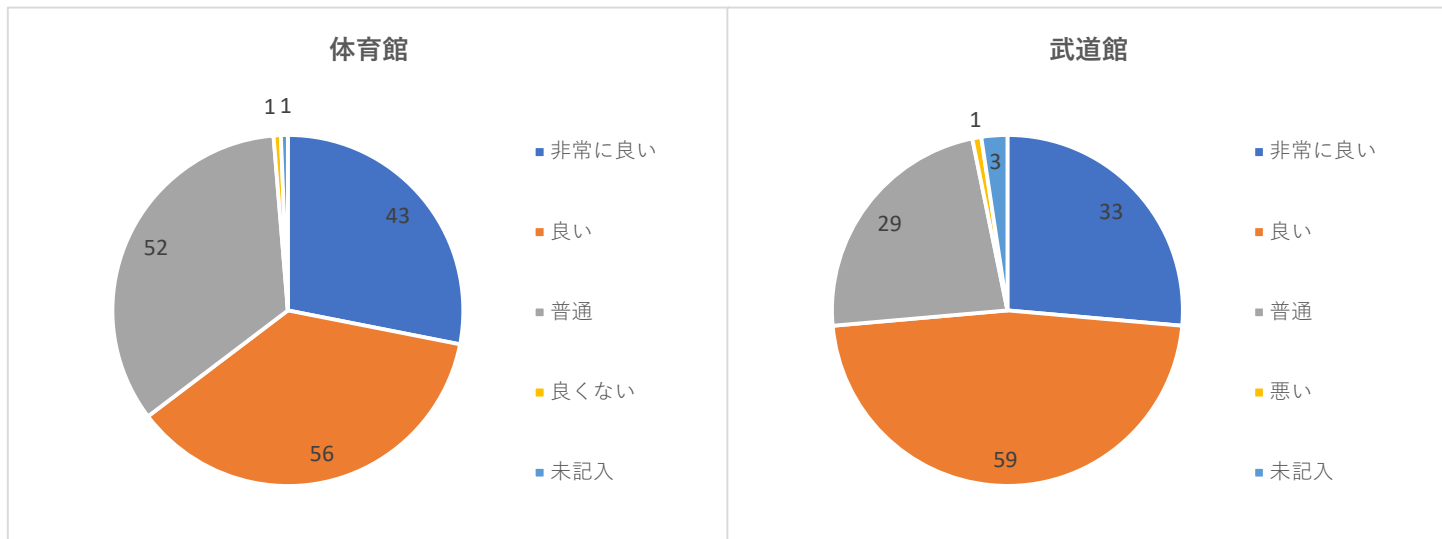
2-4 用具・設備

区分	非常に良い	良い	普通	良くない	悪い	未記入	合計
体育館	32	46	56	17	1	1	153
武道館	22	46	40	10	3	4	125
全体	54	92	96	27	4	5	278



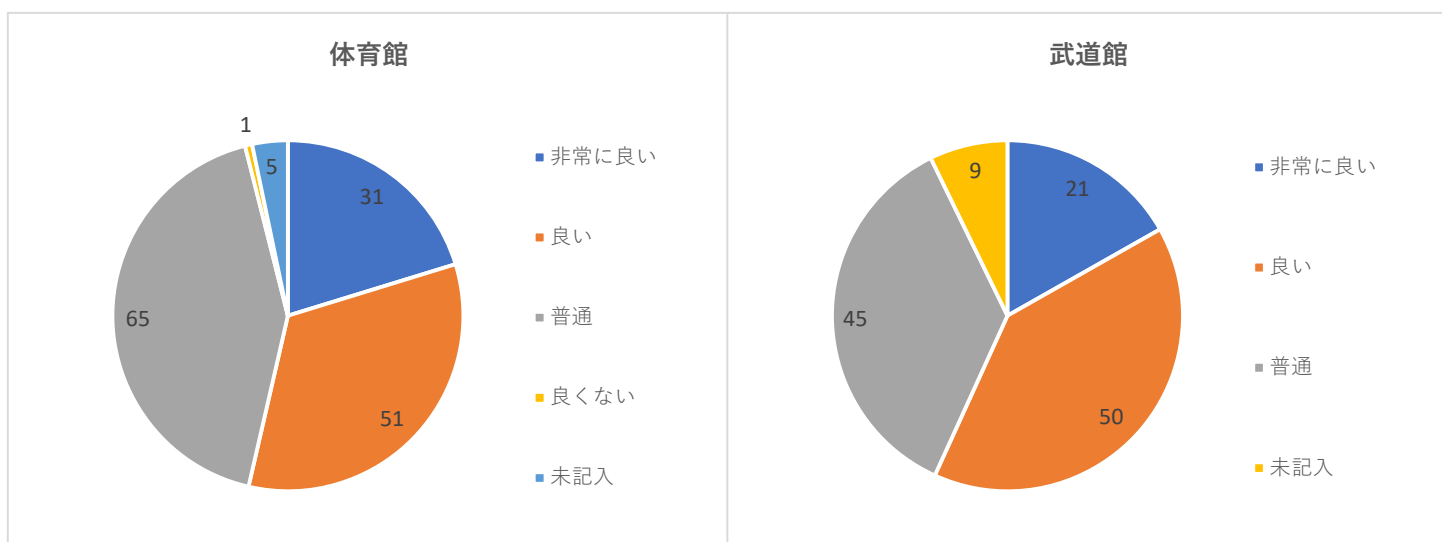
2-5 施設の雰囲気

区分	非常に良い	良い	普通	良くない	悪い	未記入	合計
体育館	43	56	52	1	0	1	153
武道館	33	59	29	0	1	3	125
全体	76	115	81	1	1	4	278



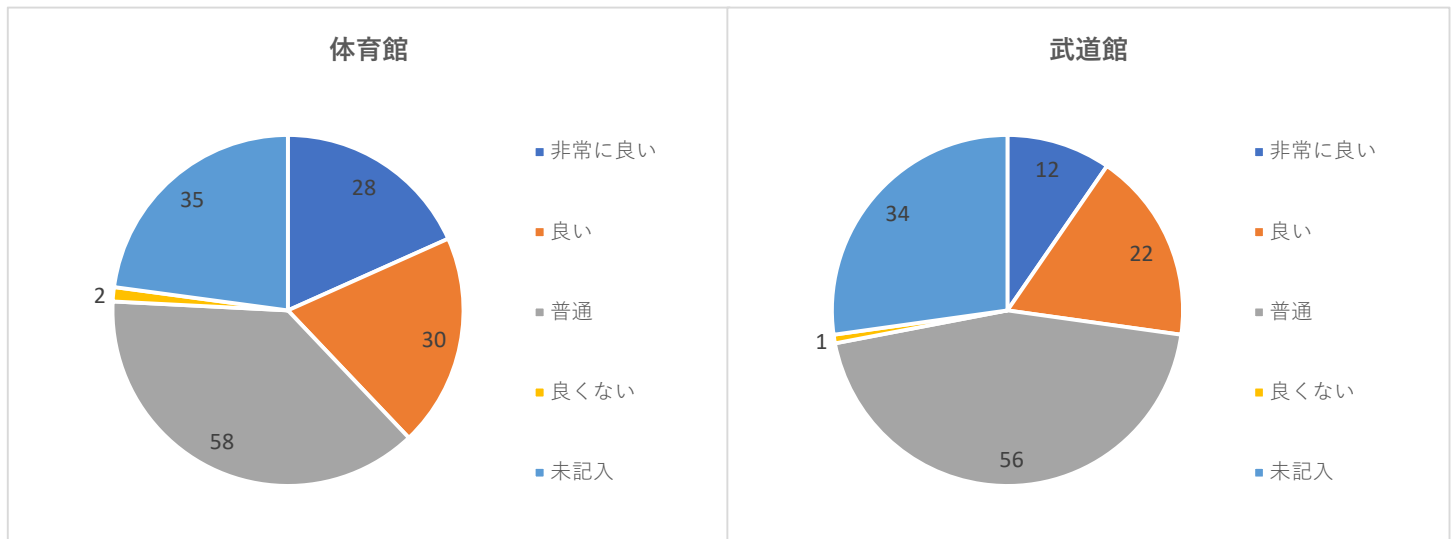
2-6 掲示物の見やすさ・わかりやすさ

区分	非常に良い	良い	普通	良くない	悪い	未記入	合計
体育館	31	51	65	1	0	5	153
武道館	21	50	45	0	0	9	125
全体	52	101	110	1	0	14	278



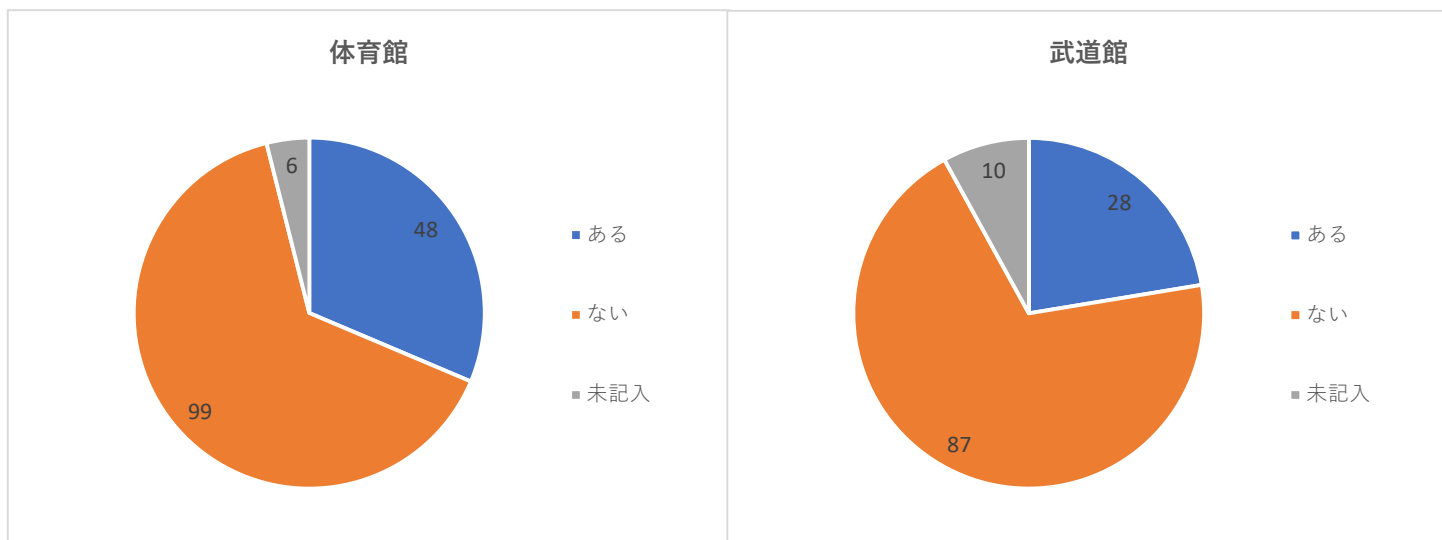
2-7 ホームページの内容

区分	非常に良い	良い	普通	良くない	悪い	未記入	合計
体育館	28	30	58	2	0	35	153
武道館	12	22	56	1	0	34	125
全体	40	52	114	3	0	69	278



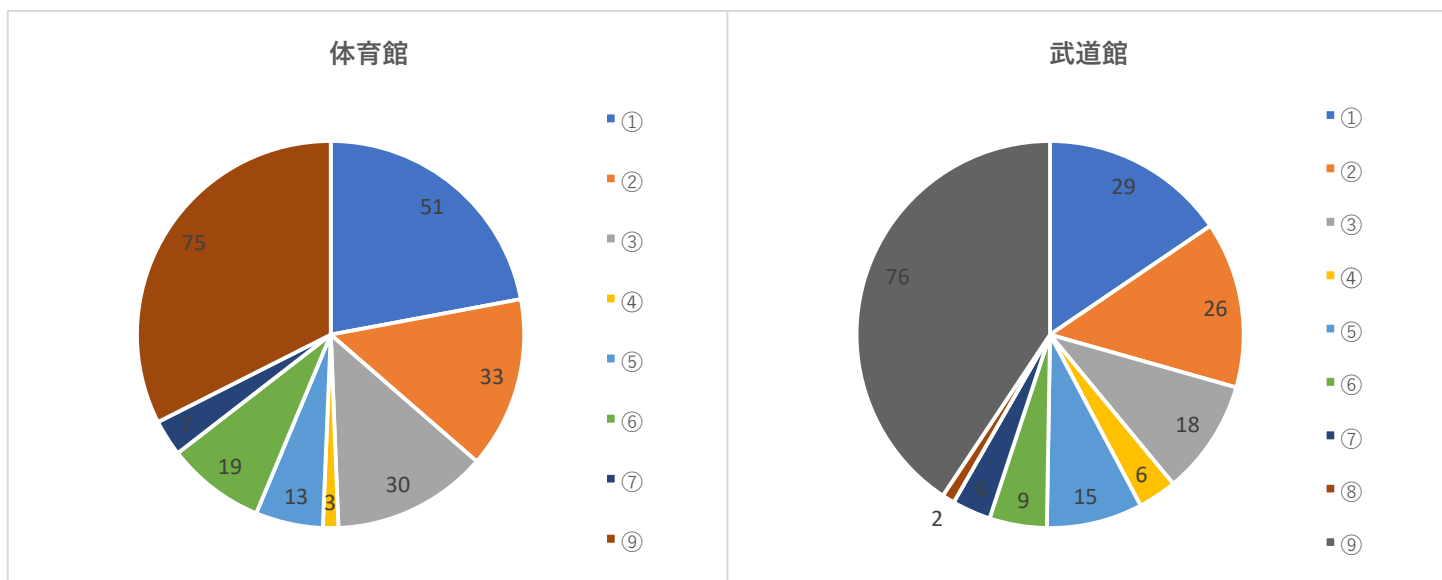
3-1 スポーツ教室に参加したことがあるか

区分	ある	ない	未記入	合計
体育館	48	99	6	153
武道館	28	87	10	125
全体	76	186	16	278



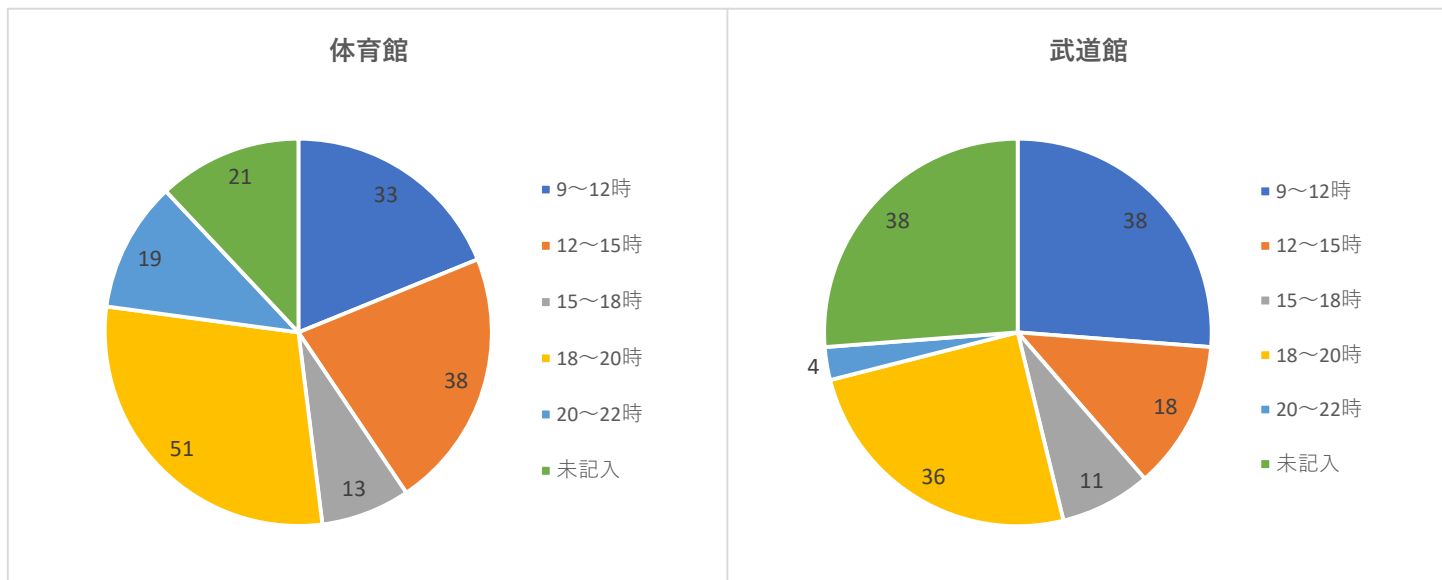
3-2 目的（複数回答）

区分	① 健康維持・増進	② 体力の維持・向上	③ 気分転換・ストレス解消	④ ダイエット・減量	⑤ メタボ・運動不足解消	⑥ 仲間づくり	⑦ 技術の向上	⑧ その他	⑨ 未記入	合計
体育館	51	33	30	3	13	19	7	0	75	231
武道館	29	26	18	6	15	9	6	2	76	187
全体	80	59	48	9	28	28	13	2	151	418



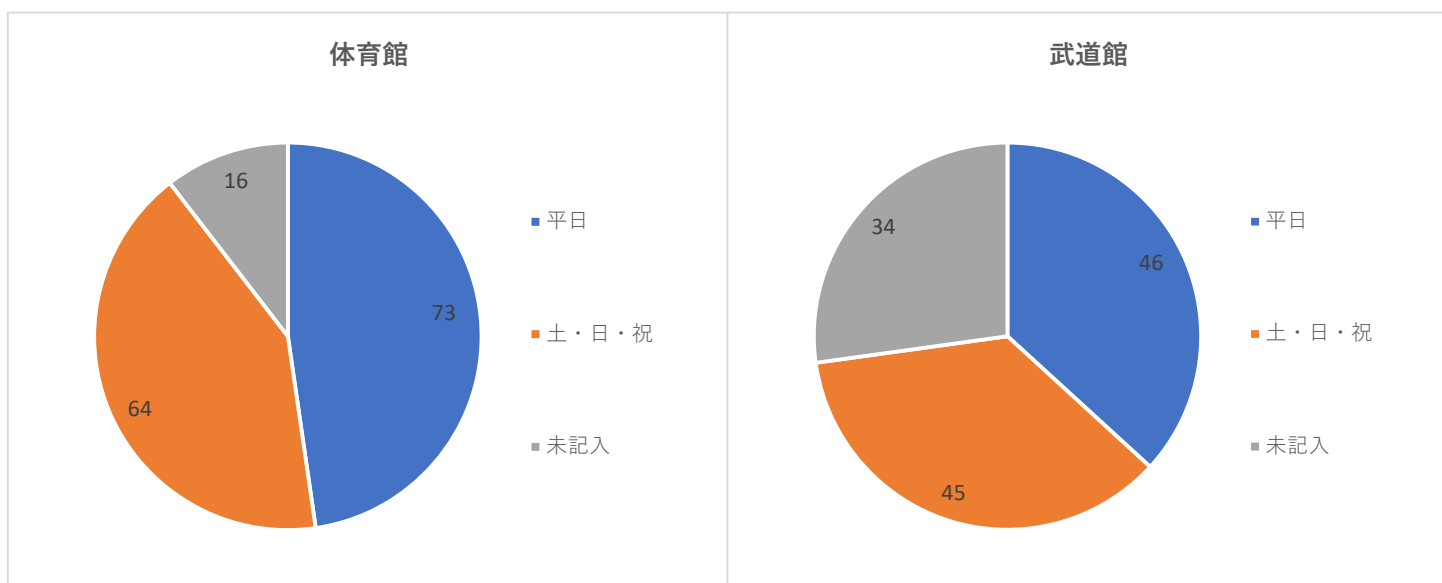
3-3 スポーツ教室に参加しやすい時間帯

区分	9～12時	12～15時	15～18時	18～20時	20～22時	未記入	合計
体育館	33	38	13	51	19	21	175
武道館	38	18	11	36	4	38	145
全体	71	56	24	87	23	59	320



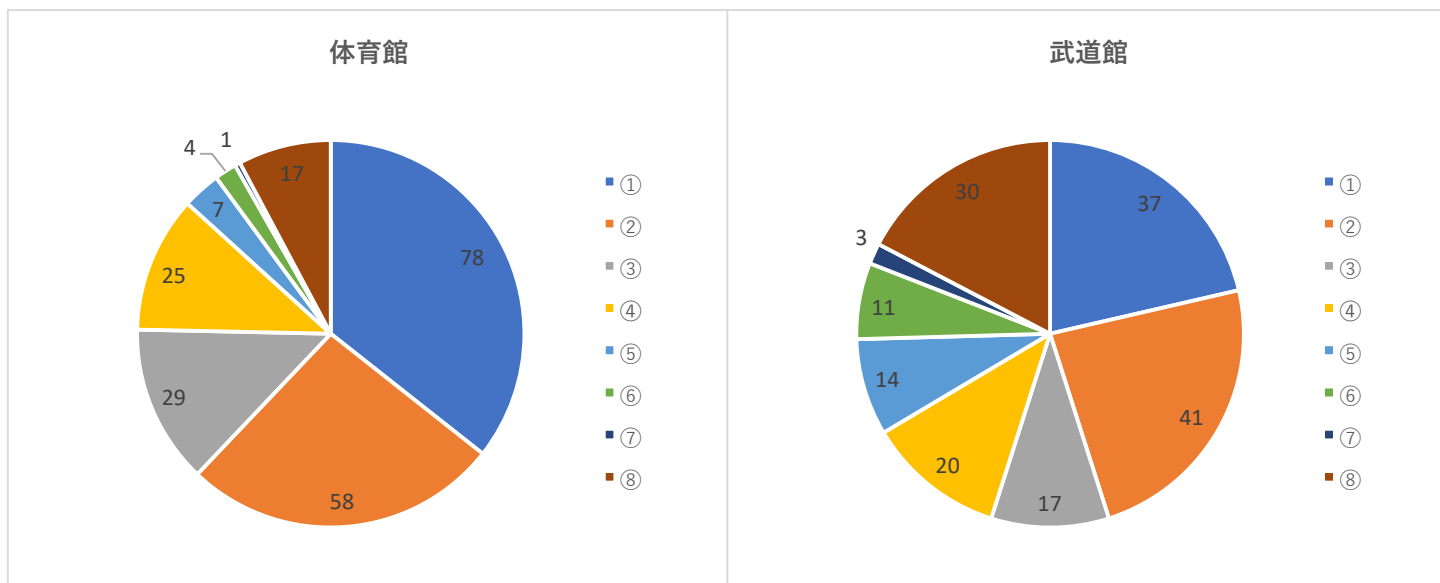
3-4 スポーツ教室に参加しやすい曜日

区分	平日	土・日・祝	未記入	合計
体育館	73	64	16	153
武道館	46	45	34	125
全体	119	109	50	278



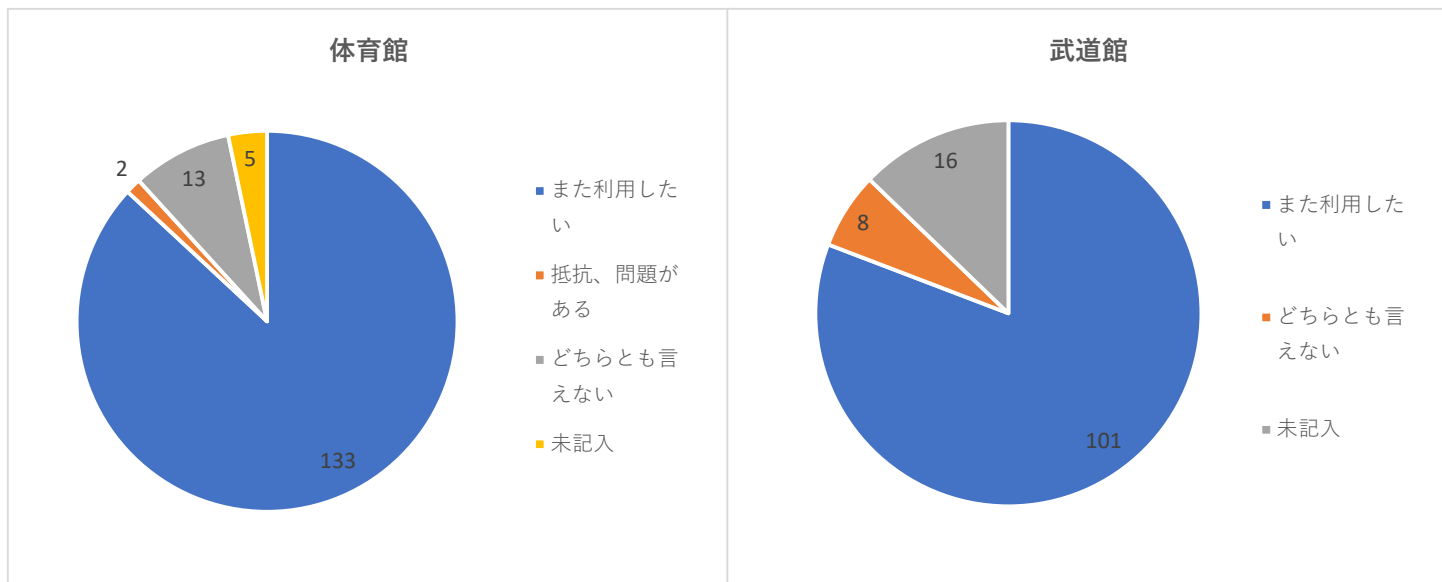
3-5 今後実施してほしい教室（複数回答）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
区分	健康づくり系	体力・筋力アップ系	脂肪燃焼系	リラックス系	子供向け系	親子参加系	その他	未記入	合計
体育館	78	58	29	25	7	4	1	17	219
武道館	37	41	17	20	14	11	3	30	173
全体	115	99	46	45	21	15	4	47	392



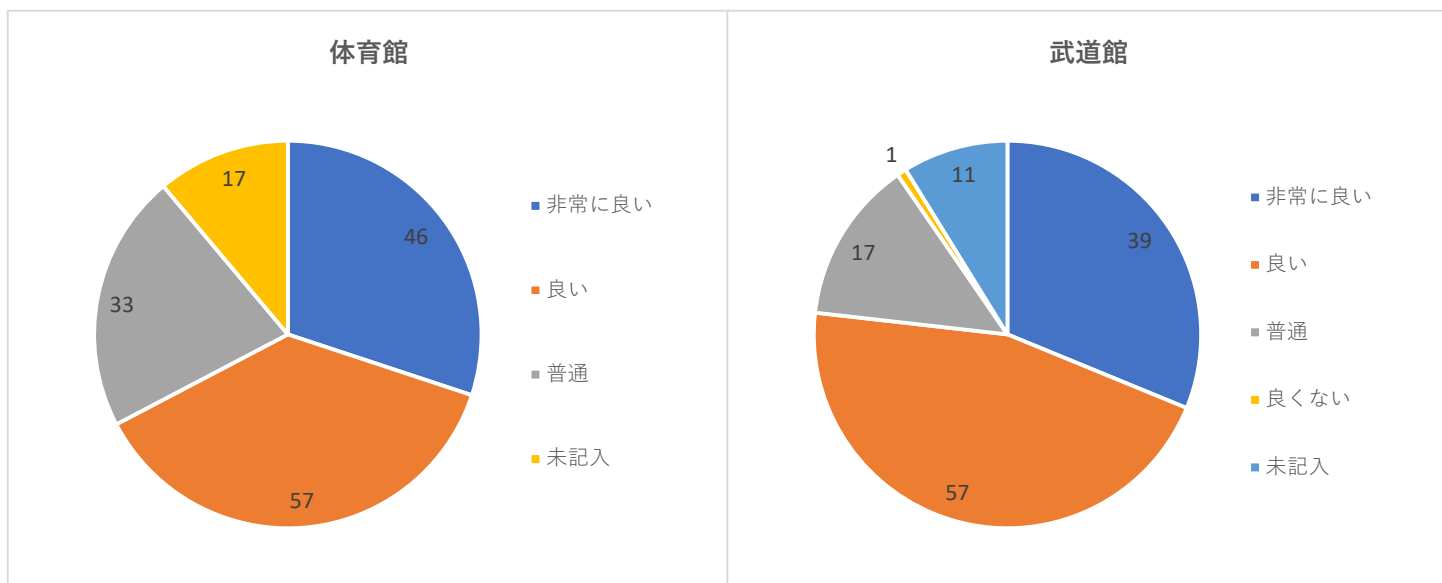
4 今後の教室の利用

区分	また利用 したい	抵抗、問 題がある	どちらと も言えな い	未記入	合計
体育館	133	2	13	5	153
武道館	101	0	8	16	125
全体	234	2	21	21	278



5 総合評価

区分	非常に良 い	良い	普通	良くない	悪い	未記入	合計
体育館	46	57	33	0	0	17	153
武道館	39	57	17	1	0	11	125
全体	85	114	50	1	0	28	278



【その他の意見・要望】

▼体育館

用具を新しいものにしてほしい。（卓球やミニテニスのネットなど）
毎回申請書に記入しなければならないのは何故か？（ネット予約で入力済のはず）
ネット決済したい
教室に参加することで同世代の方々と交流が持てて毎回楽しく参加している。
体育館前に横断歩道を作ってほしい。荷物が多いと大変。

▼武道館

女子更衣室をもう少し広くしてほしい。
館内の雰囲気が良い。
料金の支払いを自動引き落としやクレジットカード、電子決済などにしてほしい。
シャワーを使えるようにしてほしい。
エアコンが欲しい。

【集計結果に基づいた分析】

▼体育館

横手体育館の利用者は、男性の利用者がおよそ50%と、前回（3年前）のアンケート結果に比べて大幅に増えたことが目を引く。男女ともにスポーツに関心を持ち、それを実践しようとする意識がうかがえ、また、年代別にみても特段大きな偏りもなく、幅広い年代にご利用いただいていることがわかる。

利用形態については、個人利用よりもサークル等の団体利用や、スポーツ教室に参加することで利用される方の割合が多かった。

職員の対応や施設の使いやすさに関しては、「良い」という回答がほとんどであったが、用具の古さを指摘する意見が目立った。ホームページに関する質問について、今回のアンケート用紙にHPのQRコードを記載したためか、前回調査時よりも未記入（見たことがない）の回答が減った。

総合評価は、「非常に良い」と「良い」で全体のおよそ70%となり、前回調査よりも増加した。引き続き、「また利用したい」と思っていただけのように、またさらに利用者が増えるよう、今回の結果をもとに努めてまいりたい。

▼武道館

横手武道館の利用者は男性よりも女性の利用者の割合が多かった。年代別にみると、主に10代（部活動で利用する高校生）、40代、70歳以上の割合が目立つ。今回、40代の利用者が増えたが、前回調査時に課題として挙げた通り、もっと偏りのない年代での利用をいただけるよう工夫したい。

利用形態においては、団体利用の割合が大半を占めるが、「優しいヨガ教室」の開催により、前回調査時よりも教室参加での利用者の割合が増えた。

職員の対応や施設の使いやすさに関する質問については、概ね「良い」という回答であった。ホームページに関する質問について、横手体育館と同様、前回調査時よりも未記入（見たことがない）の回答が減った。

総合評価は、「非常に良い」と「良い」で全体のおよそ80%と、前回調査時よりも増加した。引き続き、「また利用したい」と思っていただけのように、またさらに利用者が増えるよう、今回の結果をもとに努めてまいりたい。